## 議事録

**題名:** Bizophia プロダクト会議議事録 (5W1H分析 & 詳細議題)

**実施日:** 2025/03/23

**参加者:** Taka, サンカ先生, たいちゃん

### **合意事項:**

* Bizophia の MVP は、文字ベースのビジネス用語Q&Aクイズ形式で開発を進める。
* Duolingo をベンチマークとし、ゲーム感覚でビジネスを学べるアプリを目指す。
* Bizophia のコンセプトは「脳死で起業」とし、起業家精神の民主化を目標とする。
* コミュニティ機能は MVP には含めず、DISCORD へのリンクをアプリ内に設置する形で対応。
* アプリ内イベント告知機能は MVP には含めず、DISCORD コミュニティ内で告知を行う。
* Bizophia のキャラクターは、アホっぽくも哲学的な「牛」をモチーフとし、親しみやすいデザインとする。
* 有料プランとして、AIエージェント相談機能を実装する方向で検討を進める。
* 次のステップとして、要件定義書を修正し、プロトタイプ作成に取り掛かる。

### ネクストアクション:

* Manus が議事メモを基に修正版要件定義書を作成し、参加者へ共有。
* たいちゃんがプロトタイプ作成に着手。
* キャラクターデザインについて、イラストレーターへの依頼を検討。
* 次回会議にて、修正版要件定義書とプロトタイプのレビュー、キャラクターデザインの方向性について議論。

### 議題:

1. **Bizophia プロダクトコンセプト**
   * 議論内容:
     + 当初想定していた起業支援情報サイト的なアプリから、Duolingo のようなゲーム感覚でビジネスを学べるアプリへとコンセプトを変更。
     + 「脳死で起業」をキーワードに、誰でも気軽に起業家精神やビジネスの基礎を学べることを目指す。
     + 起業家精神の民主化、ビジネス教育の入り口としての役割を重視。
     + ターゲット層は、起業に興味のある大学生や、将来のキャリアを模索している層をメインとしつつ、最終的には年齢層を広げることを視野に入れる。
   * AIアイデア提案:
     + ユーザーの学習進捗や興味に基づいて、パーソナライズされた「今日の格言」や「起業家名言」をアプリのウィジェットや通知で表示し、モチベーションを高める機能。
     + 学習内容と連動したミニゲーム要素（例：ビジネスシミュレーションゲームのミニ版）を導入し、楽しみながらビジネスの基本原則を体感できるようにする。
2. **MVP (Minimum Viable Product) の機能**
   * 議論内容:
     + MVP のコア機能は、文字ベースのQ&Aクイズ形式に絞り込むことで合意。
     + ビジネス用語やフレームワークに関するクイズ形式の問題を通して、基礎知識を習得。
     + Duolingo を参考に、段階的に機能を追加していく方針 (図式ベースのクイズ、業界別モデルケース、ランキング機能など)。
     + MVP では、学習コース、クイズ、用語集、ランキング機能を実装することを検討。
   * AIアイデア提案:
     + AI を活用して、ユーザーの解答履歴に基づき、苦手な分野や理解度の低いトピックを自動的に特定し、重点的に復習できる「パーソナル復習モード」を実装。
     + クイズ問題の難易度をユーザーのレベルに合わせて動的に調整するアダプティブラーニング機能を導入し、常に最適な学習体験を提供する。
3. **コミュニティ機能とSNS連携**
   * 議論内容:
     + MVP にコミュニティ機能は含めず、まずはアプリのコア機能を優先。
     + コミュニティ機能の代替として、DISCORD へのリンクをアプリ内に設置し、興味のあるユーザーをDISCORDコミュニティへ誘導する形で対応。
     + DISCORD コミュニティ内で、イベント告知、ユーザー同士の交流、学び合いの場を提供。
     + アプリとDISCORD コミュニティを連携させ、アプリの進捗状況に応じてDISCORD内での特典（限定イベント参加権など）を付与することを検討。
     + アプリ内SNS機能（学習記録共有、いいね、コメントなど）は、MVP では見送り、今後のユーザーフィードバックに基づいて検討。
   * AIアイデア提案:
     + AI を活用して、DISCORD コミュニティ内の活発なユーザーや貢献度の高いユーザーを自動的に特定し、コミュニティ内でのリーダーシップロールや特典を付与するシステムを構築。
     + ユーザーのアプリ学習データとDISCORD コミュニティでの活動データを統合的に分析し、ユーザーの興味関心や学習ニーズを把握し、よりパーソナライズされたコミュニティ体験を提供する。
4. **収益モデルと有料プラン**
   * 議論内容:
     + アプリの収益モデルとして、有料プランの導入を検討。
     + 有料プランの特典として、AIエージェント相談機能の実装を検討。
     + AIエージェント相談機能は、ビジネスに関する質問や相談にAIが答える機能で、ユーザーの個別学習をサポート。
     + アプリ内広告の削除や、追加機能の提供も有料プランの特典として検討。
     + MVP 段階では、無料プランのみでユーザー数を獲得し、その後の段階で有料プランを導入する可能性も考慮。
   * AIアイデア提案:
     + AIエージェント相談機能に加え、ユーザーのビジネスアイデアをAIが分析し、実現可能性や改善点をフィードバックする「ビジネスアイデアAIレビュー機能」を有料プランに含める。
     + 有料プランユーザー向けに、定期的なオンラインイベント（専門家Q&Aセッション、ワークショップなど）への参加権を付与し、コミュニティとの連携を強化する。
5. **キャラクターデザインとIP戦略**
   * 議論内容:
     + Bizophia のキャラクターとして、「牛」をモチーフにすることを決定。
     + キャラクターの性格は、アホっぽくも哲学的、親しみやすくも奥深い、ギャップのあるキャラクターを目指す。
     + イラストレーターにキャラクターデザインを依頼することを検討。
     + キャラクターを活用したIPビジネス（グッズ販売、アニメ化など）の可能性も視野に入れる。
     + キャラクターの名前や設定、ストーリーなどをユーザー参加型で決定していくUGC要素も検討。
   * AIアイデア提案:
     + AI を活用して、様々な牛キャラクターのデザイン案（表情、ポーズ、服装など）を自動生成し、イラストレーターへの依頼時の参考資料とする。
     + ユーザーからのキャラクターアイデアや設定案をAIが収集・分析し、人気のあるアイデアをキャラクターデザインに反映させる仕組みを構築。
     + AIキャラクターが、アプリ内での学習進捗や成果に応じて、ユーザーを褒めたり励ましたりするパーソナル応援メッセージを生成し、ユーザーエンゲージメントを高める。

## 文字起こし

コンセンツ、ないですか、こちらは。

コンセントないと、きばしっ。

ナイティーナイン？

な、何？

コンセント。

コンセント、ナイティーナイ-- グルグルナイティーナイですね。

おっさん、待って、待って、くださいね。うわっ。自分くさい、家具？

うん。なんで？

(笑い)暑すぎる。

ヨーロッパ旅行？

Yes。 7月に行こうと思って。

行きたい。行きたい、行きたい、行きたい。よ、ヨーロッパ行こう。ヨーロッパ。シンガポール行こう、シンガポール。

知床は？知床。

じゃあ知床行こう。

ゴールデンウィークに知床のフリースクールに行ってきます。

行こう。

今問い合わせ中ですけど。

知床のフリースクールはすご。

あれなんか、資料のリンクとかって共有ってできます？ うわぁ。だいぶです。今日のアジェンダ。アジェンダ、アジェンダって書いてたっけ？

アジェンダギャップ。

うん。そうだよ。夏期休み。どうしようかな。事業戦略について。事業戦略というか、事業の方向性についてはお話ししました。それを踏まえて、ビジョンっていうか、っていうところと、組織論、多分、組織論については終わりないと思うので、それからまず進めたいかなと。で、プロトタイプ作成、今写ってると思うので、それと-

プロト、プロトタイプもそうですし、その、あのコンセプトの部分も、そのどうしていきたいかっていう。プロトタイプをそう触ってもらうというかのもそうですけど。多分あれ、割と参加の先生が作ったやつとも似てて。そこはいいんですけど、多分 UI のイメージはあんな感じなんだろうなっていうのはありつつも、どんなあれでしたっけ？なんか、多分マヨビームというか、参加の先生の意見も聞きたい部分もあると思うので、そこのディスカッション。

OKです。

ですですです。

それでは、組織論については 7S テーマに話していく形。戦略についてはチャットで共有した通りで、何か (水音) 坂さんの方から追加補足することがあればっていうところ。 どちらかというとシステムの部分かな。コミュニティの活性化もそうですし。なんか、(背景の話し声) やってっていうこれ、私この件やりたいことがあったんで、それをお答えの形でまとめてたら、優先順位低いものが多いなっていう印象はちょっとあります。

好きな生活体の優先度が正直甘みえてこなくて。なんだろう、なんか今組織を活性化しようとするのは確かにいいんですけど。何だろう、その実際に仕事がある状態というか、裏で例えばプロダクトがあって、それの UGC を一緒に作っていきましょうとか、なんだろう、実際入ってからやることが明確にあってっていうその状態がないと、表面的にシステム整えてもどうにもならないのかなっていう。

そうそうそうそうそうそう。

入って何するの？っていう。どこのDAOも多分入ってからやることっていうのが明確にあるんですよね。Web DAOだったら入ったらシェアハウスに住みますとか、あるじゃないですか。

そこの解像度をどこまで上げるかだと思っていて。今って役割って 4つあるんですよ。ラーナーと、あとデベロッパーと、全部忘れても。

ありますけど-

その 4つの役割でロール配分してるじゃないですか。ただ、実際何すればいいかわからない状態ってあると思っていて。それはなぜかというと、多分やってる人がいないから、リーダーがいないからだと思うんですよ。 だからそこにリーダー配置して進めていけば、学び合いの文化も作れるんじゃないっていう。ティーチャーか。ティーチャーとマーケターの、なんだ、発信者。

でもなんかある程度トップダウンで決めなきゃいけないというかね。

そうそうそうそう、そこを決めたいんですよ。いわゆるウーシャ DAO のカルチャーって何ですかであったりとか。

そうそうそう。だから、どこをとこ、どこまでDAO的な意思決定と私とかが決して行うのかっていうところがあって。あんまり下段的な意思決定で振り回すと、コミュニティってついてこれないので。

そうだけど、なんか個人的な--

組織活性化と多分...ええと、組織の活性化、あとコミュニティを作るってことと、そのウーシャDAOの事業を推進するとか、組織としていろいろいろんなことを決定して進めていくっていうことは結構矛盾してるんですよ、多分。やってることとして。両立がなかなか難しいなっていうのは。

それはちょっと課題だね。

なんか、個人的な感触としてはなんかこう、参加者に委ねすぎというか、自律性を重んじすぎてるっていう感じはしてます。

DAOに引っ張られてるのは多分あるんだと思ってて。

そうですね。

仕組みがある程度出来上がってからDAO化するっていうのがやっぱベターなんだろうなっていうのを思ってるのと、もう一つはなんかそこの目的、例えばビゾフィアをみんなで作ろうみたいなコンセプトであって。あ、でもコンセプトが一応あるのか。メタバース作る、みんなで作ろうみたいなやつだったもんね、最初は。

うん。

で、そこのなんかゼロベースだと難しいっていうのが今回わかったんで。なんか基盤作った上でプラスアルファのなんか新しい構造。

それもそうだし、あとどっこのDAOもやってることが誰でもできる簡単なことっていうところに限定されてるっていうのをすごく感じて。別にシェアハウスするの誰でもできるじゃないですか。例えば古民家再生って言っても、家片付けるぐらいだったら誰でもできるじゃないですか。でもメタバーススクールの周りを作ってくださいって誰もできないじゃないですか。

そう。 なんかその、そう、ハードルが高いというか、なんかその-

ティーチャーって誰でもできない？

いや、その、なんかその、役割はあるんですけど、ある程度多分そこがトップダウンで、そこがトップダウンでやるべきだと思ってて。なんか、ティーチャーってロールはこれをします、例えばこれをします、で、まあ、わからなかったらこれをしていればいいです、なんか自分でやりたいことが見つかったらそこは委ねます、みたいな。なんだろう、その、まあ、そう、それこそ先駆者というかリーダーみたいな人がいないのも問題ですけど。

やっぱりリーダー、リーダーじゃない？一番は。なんかその学び合いのティーチャーであったりとかも、ティーチャーがいなければティーチャーツーみたいなのも生まれないと思っていて。

そうですね。

だからなんかティーチャーはそれぞれ、他のなんか三つぐらいやってたけど、なんかまずティーチャーかなっていうのも思ってる。学び合いの文化を作りたい、勝手に学んでいく自走社会。

ま、そう、それ、そうですね。

雑談作りたいです。

でも、え、そう、そこよ、そこもそうですけど、DAOとして拡大していくので、その学びに価値を感じる人となんか何かを実際に手を動かしてやりたい人、なんて言うんだろう。 そう、例えばシェアハウスに住みたい人だったら結構見つかりやすいんですけど、なんかシェアハウスについて学ぼうとか、そういうDAOの取り組みについて学ぼうっていう勉強会をしても同じぐらいの人数集まるのかっていうか。その学び合いに需要があるのかみたいな。 そこから入って拡大していくビジョンがあるか。

確かにDAOってもらう側がなんかメリットがあるから参加していくみたいな感じなんですけど、デッドDAOは結局住むっていう、もらうっていうのがある前提で、プラスアルファで自分で運営するというアンカーというか。じゃあそのもらう側って何ですか？っていうことをもう明確にする必要がある。で、そのもらう側が一つRESOPIAだと思っていて、RESOPIAのアプリを通して、そのアプリをもうアプリでも学習している。学習、学びをもらっている。で、その学びをもらっているところからプラスアルファ自分で学びを提供する側に回っていくとしたら、RESOPIAで追加のなんか講座みたいなのをイベントでバーって出していって、AI講座みたいなところであって、そこから UGC が生まれてくるイメージ。RESOPIAの、RESOPIA自体はトップダウンでもう会社として作っていきます。で、そこから派生していくのがコミュニティなのかなっていうのを思った次第です。

フェーダーみたいに、そのプラットフォームとして提供しつつ。

コミュニティの文化を今考えるではなくて、ウルシアDAOの組織としての会社としての文化を考える方が。

文化、文化もそうですし、成長戦略というか。

それは事業戦略の話じゃない？

事業戦略。

事業戦略という、どこのタイミングで、だからまずコミュニティが必要になるのはいつなのかって。

そう、コミュニ、コミュニ-

今じゃない気がしてきた。

それはちょっとあります。

それです。コミュニティが必要なのは RESOPIA ができて UGC を作ろうってなった時とか、あとそのコミュニティに入れるっていうことを特典にしようと、RESOPIA のその免許申請フレーズ。そうなった時に多分必要だと思うんですよね。だからある程度 RESOPIA を進めていって、最後なんか四択クイズみたいなものをみんなでなんかブラッシュアップしていこうってなった時に、どれぐらいだったらできるかなっていうので入ってもらえたりすれば、例えば当時先にコミュニティができていればそこの参加権にが意味を持つので。だから、参加権に意味を持たせるっていうところで多分コミュニティが必要になるんですよ。 RESOPIA を作りながら、コミュニティが最後の方で充分にそれなりにできてればいいかなっていうところはありますよね。

うん。

今って録音撮ってたりとかしてないですか？

ずっと撮ってます。

あ、素晴らしいですね。それは。

五十分前から撮って、てか、今日の会話全部撮ってます。

すげえ、さすが。さすが杉です。

FEDAのあれも撮ってました。なんか役立つかわかんないけど。

ってなるとコミュニティは今ではないっていうところで、そうなってくるとフォーカスするのはRESOPIAだね。RESOPIAでどう立ち上げていくかっていう。RESOPIAの中でもコンセプトとプロンプト、あ、プロンプト？プロンプトって何の話だっけ？

コンセプトと、なんですか。

コンセプトとプロンプトとマーケって自分がメモってるんですけど。

はい。

プロンプトって何？

中身じゃないですか。

あ、プロトタイプだ、ごめん。

あーなるほど。えーこっちでツー。

はい、の三つをちょっとメインでディスカッションできるなというところですね。

ちなみにRESOPIAのリーダーはどっちですか？確か。(話し声)

あれ、風呂マネで言うと、えっと、役割としてはプロジェクトオーナーが私です、プロジェクトマネージャーがタカさんです、で、開発者がたいちゃんですっていう感じかな。

わかりました。

OKですか？

はい。

まあでもその、ね、この三人のあれなので、共同リーダーぐらいの温度感ではありますよね。 そのあくまでその役割とか責任がそのあるだけで、全員が同じ温度感で取り組むものではある。

それもそうだし、あとメンバー持っとくとかいう上で、誰が何してる人なのかっていうのを明確にする上でも、役ロールをちゃんと決めておくっていうのが大事かなって。

そうね。

ちゃんとなくなってやってると多分参入しづらいから、ああいう風に。

ああ、なるほど。チームが増えてきた、メンバーとか増えてきた途中に。

あと個人の特性を伸ばすっていうのもあると思っていて。何でもやるっていう、例えばたいちゃんはシングルタスクの方が強いじゃないですか。集中力があると思っていて。私とタカさんはどちらかというとマルチタスカーなんですよね。浅く広くみたいなタイプだと思っていて。ただ広い視野を持ってるので、そこはなんか明確な役割分担はできてた方がいいかなと。プロジェクトオーナーマネージャーであったりとかは全体を見てる必要があるんで。で、なんか、たいちゃんの場合は全部やるっていうよりかはどちらかというともう開発に専念していただきたいっていうのが私の想いとしてはありますけど。そこにシングルタスクを集中してちょっていう。

確かに。

個人の特性と合わせる必要もあるっていう感じですかね。

もう役割クリアかなと。

はい。

で、スケジュール感に関しても、多分以前お伝えしたよりかは早く作れそうだよね。 まあ、その、その、要は時間がかかるのは多分一番、一番ではないけど、コンセプトさえ決まればいいんですよ。だけど、コンセプトが違う状態で進んじゃうと、いくらマイナスでもなんかこう微妙な感じになるので。

OK です。じゃあ、コンセプト-

プロトタイプは爆速でいけるんですけど、あの、このプロダクトを成功させるために、ちゃんとしっくりくるコンセプトにするっていうのが多分一番大事。

OK です。じゃあコンセプト 三人で話していきながら、デベロップに関してはたいちゃんの方で。で、マーケティングのなんか、あと、アプリ開発し終わった後どう伸ばしていくかっていうのが、私とタカさんっていうような形になっていくかなと思いました。

はい。

もちろんたいちゃんに共有します。

あー。

はい。

なので、今日の議論、テーマとしてはコンセプトですね。どんなコンセプトですか？っていうので何か共有ある？

はい、あります。えー、うーん、これか。えっと、DISCORDに多分共有したのが。ありますね。ピン留めしたと思います。全部。多分 MacBook で開いてもらう。あ、まあメモもあるか。でもスマホなんで。

あのドキュメントのやつ？

参考にしていただきたいファイルはこちら...と。ファイルは、そうか、プロトタイプはこれなん...よ、要件定義は？要件定義は今あります。でも多分もろもろまとまってるのがそこかなと。

要件定義、要件定義はワイフワイと一緒に組んだやつがあって。

それそれが多分書いてあるでしょ。同じことが書いてある。もろもろをまとめてもらったようなことになります。補足とかここに書いてるんで。

なんかたいちゃん、これタイちゃんがまとめてくれたやつ？

私と、とマヌスです、マヌス。

なんか、どこ議論していくかっていう感じになったんですけど。

はい。

これ基本さん・・・基本情報。これなんか中身はざっと拝見させていただいて、多分これ、あれっすよ、×武田塾×っていうやつで。

はい。Duolingo×コミュニティです。

OK、OK。あ、リキャプ増えてる？あ、リキャプ増えてる。早いですね。

なんかいろいろやってもらってます。

あ、そういうことか。ああ、そういうことか。で、最終的にまとめてくれた。 OK、OK。で、コンセプトっていうところだと思うので。順番にやっていきますか。からやっていきますか。

です。えーと、ここの、ここの、ここも。

まあ揃ってますよね。結局は自己実現っていうところに帰ってくるとは思うんですけれども。いわゆる起業家人材を育成していくっていうところで。なんか。

そうですね。

起業したいけど...っていう話だけど。

そう、起業、身近な選択肢とかと変えたい、とか。

ああ、そうそう。なんか誰でも起業できるような状態を作り-

その、それこそ脳死で起業できるみたいな。

脳死で起業状態を作りたいですよね。もちろんそんな機械はうまくないですけど。なんか、見え方として、一般、なんだろ、起業考えてない方でもゲーム感覚でこれをやってたら勝手になんか起業できる状態になっていったっていうのが理想だと思ってます。ビジネスについてはどうせ社会人になれば学んでいくんで。ほとんどの人が会社員なわけですよね。会社員でビジネスについて学ぶんで。どちらにせよ、なんか早め早めでアントレプレナーシップ、いわゆる起業家を通して、かつビジネスについても学んでいけるっていうところは理想かなっていうのは思うんで。なんか、ビジネスの学びがつまらないではなくて、ゲームで遊んでたらビジネスについて勝手に学んでましたよ、で、かつアントレプレナーとして起業できるような状態に自分なっちゃったよ、のスタンスに持っていけたらすごい価値あるんじゃないかなと思いますね。

ちょっと、強気でやってるんだ。

だから湿ったのかな。

多分すごいこれ拾ってるから。フォーカスしてほしいね、このマイクが。

で、フリーで供給してくれた起業時代-

はい。

あるじゃないですか。ああいったん触ってみたんですけれども、絶対小学生はやんないなと思いました。で、中高も、いや、やんねえな-

やらないです。

大学生で、起業する、なんか合同会社や株式会社を建てる際に参考にするアプリの一つ。なんともっと言うと、ウェブサイトでも良くねって思ったぐらいだったんで、アプリじゃなくて。 アントレプレナーシップではないんですよね。 あれはなんか、情報サイト- 起業しようと、 so 情報サイトで、手助けなんですよ、起業の。 そうそうそうそう。ビジネスサポートだよね。 結局フリーは受賞体につなげたいだけなんで。っていうよりかは、本当にユーザー目線に立ったときに、本当に誰でも簡単にビジネスについて学んで起業できるような世界観を作っていく。起業の民主化、起業家の民主化(笑い)。

起業家精神の民主化というかね。

...が、多分コンセプトかなと思ってるんですけど。

はい。なのでDuolingoがだから脳死で言語学習できたように、その、その感覚で脳死で起業することで、なんかこう起業が選択肢のうちの一つにも入ってくるだろうし。

学んだ気になれるじゃないですか。Duolingo も実際あれ、じゃあ英語力上がりますか？っていうと、どうなんすか、どうなんすかね。 ああ、まあ、初級レベルはいいけど。

いや、そうです。なんか、あの入り口としていい。

そうそうそうそう。

だからなんだろう、起業家精神を常識にするというか。なんか、その、なんだろう。新しく学び始めるんじゃなくて、学校で教えてくれるのが一番いいですけど。

例えばDuolingoで一定程度できるようになった人って、これどうなんだろう？って勝手に気になりだして勝手に自分でやるから。

ああ、そうそうそう。

別に、その、最後まで走り尽くす必要はない。

だから、自動的な人でも学びやすい形にして-

最後まで伴走するってイメージじゃなくて、ある程度まで成長させて自分でできるようにしてあげるっていう。 興味付けでしかない。

そう。

起業の認知、興味。 だからユーザー、カスタマージャーニー的にアイサツで-- アイサツ？アイドマでもいいんですけれども、見た時にまず認知が 第フェーズであるんですよね。 第ステップであるんですよね。次に興味デザイアがあるんですよ。いや、うん。デザイアは欲求です。

欲求です。

認知、インタレスティングだ。

インタレスと。 (笑い)認知。IDUMAなんで、AI。Aがまあ、認知でしょ。で、インタレスティング、興味でしょ。で、DOが欲求なんですよ。で、そこからメモリー自分が記憶していってアクションを起こすっていうのが基本的なユーザーフローなんですよね。で、考えて言ったときに、なんだっけ、ビゾフィアか。ビゾフィアに関しては多分までなんですよ。認知から興味までなんですよ。で、そこからめっちゃ欲求したいまでには多分なんないと思っていて。ああ、なんか起業っていう生き方あるんだ。へぇー。なんかもっとちょっと調べてみようかなぐらいでいいんですよ。役割としてのビゾフィアの。で、DUMAのところはバックでスクール作りたいんですよ。ガチで起業するっていうスクールを作りたい。

それもそうだし、そういう人たちをコミュニティに誘導して、そんなのできる。

運営側に回したい。

そう。

起業家ス-- なんか元々あのビットっていう経営スクールに通ってたんですけど、そこではうまいのが最初ユーザーとしてスクールに入るんですよ。で、出口としては運営側に回っていくんですよ。しかも月五万ぐらい払って。もらってんじゃないよ。月五万払って。そこで経営学びながら自分は運営スタッフとして働きますっていう制度を作ってたんですよ。それはフェーダと同じですね。お金を払ってる側で提供者になるっていう考え方。そのモデルはうまいなと思いました。だってそこまでお金を払ってまで、そこでコミットしていきたいんですっていう人なんですよね。熱量高いじゃないですか、前提。やらされはないじゃないですか。

はい。 だから、そういう主体的な能動的な人をある意味、ビゾフィアからスクールを通してウブ社ダオにつなげていく。採用であったりとかもそうですし、DAOメンバーもそうですし、につなげていくっていうような状態が作れると良き。

あー、見えた。visofia から visofia がユーザーとして入ってきました。で、その次にスクールとしてユーザーとして入ってきます。その次にスクールにDAOメンバー的な形でスタッフとして入ってきます。で、その次にその、そこで結果出した人がウーシャDAOで採用を行いますってなったらめっちゃ綺麗じゃない？まあ、企業する人もいると思うけど。 確かに確かに確かに。そうですね。このフローメッチャなんか大事な...。 visofiaのコミュニティとスクールは別のものですか？ visofia のスクールとコミュニティは別のもの、別のものです。コミュニティからスクールにつなげることはします。だから入口visofia、ミドル、コミュニティ、で、バックがスクールみたいな感じ。 そうね。

スクールとの間にコミュニティが入るんじゃない？多分。

そうだね。

で、いろいろなんか一緒にやっていこうって。そこは多分学び合いのコミュニティになると思うんだよね。起業の-

ああ、そうだよね。

確かに、その、それだ、そう、そこがなんかちょっと引っかかってたのが、普通の人って学び合いにそこまで興味ないんだけど、ここで能動的な人になった人は多分-

最低限の知識を全員共有できてるから、その段階だったら多分建設的に多分学び合いコミュニティとしての面が-

確かに。

ああ、そうだね。それが一番コミュニティ形成のタイミングとしては適切かもしれないね。

あと、めっちゃ関係ないですけど、スーパーウィスパーってツールいいですよ。適当に喋ったのをなんかメモにしてくれるマックブックあるので、ちょっと。

これでも音声機能でさ。

いや、なんかその、それもそうなんですけど、喋ったやつをもうそのまま議事録にしてくれたり、なんかあの、事前に書いたプロンプトに整形してなんかやってくれるんですよ。だから。

ああ、なるほどね。

なんか、あの、そういうビジネスのアイディアとか思い浮かんだら使うといいかもっていう。その使えないんで、WINDOWS と ANDROID は。

NOT AVAILABLE ON iPHONE。

そう。まあ、っていう音声入力に最近ハマってるっていう。めっちゃ関係ないですけど。

そうですね。アイデマ-

そう書くんですね。

ああ。

こう、あいでも、AIDMA。アイデマも-

アプリケーションというかあれか。

あいさつとかダブルあいさつとか。

ふーん。

が流行ってますが、ま、それはいいとして。

確かに。 それが一番きれいな気がする。コンセプトとしては脳死で起業だっけ？

はい。起業。

(笑い)脳死で起業って面白いね。起業、一体その人起業しない方がいいでしょう。

いやー、でもなんか、多分、多分社会のその自然な姿として、起業を最終ゴールとして起業にたどり着く人は割合は変わんないかもですけど、普通の仕事をする上でも起業家精神をわかってたら、そのー、なるよね。その仕事ができるようになるというか。

リーダーシップ研修とかにもつながっていきそうだね。

それもそうですし、あと私が書いたのはこのタックスとか何でもいいんですけど、学習していって、例えば本で学習してみたいな、いろいろ考えたときに、あの、本のその学習内容をチェックするためのチェックリストをじゃあ作ろうかとなったときに、ウーシャ側で用意したもので済ませていけないのと、それも多分本の内容を読ませるとか、本の内容を出力するAIがってなると結構問題が発生するよ、著作権的に。っていうところを解消するのはどうしたらいいかっていうのを考えたときに、えっと、その本の内容を自分でまとめてアウトプットしてもらおうっていうのを考えて。それを例えば何？書籍レビューでもいいですし、あのなんか、しったにパワーポイントにしてもいいですし、そこから広げてイベントみたいな形で、それぞれが発表するみたいな。人の前で、うん、ま、あの、ね、ことパワーポイントで発表するみたいになってくると、そのは、ん、起業作成スキルとか発表するっていうこと。そしてそのなんかみた、なんだろう、それを例えばなんだろう、ピッチイベント形式みたいな、なんでもいいんですけど、そういう風な形にしていっていけば、その起業家精神みたいな本質的な考え方、エンタープレナーシップと、その実際に実社会で使えるそのスキル、どこ行っても使えるじゃないですか。 そういうのっていうのを同時に見つけられるといいな、そしてさらにその発表した内容をAIで学習させれば、その教材は内容をなんとなくAIが把握して、それを他の人にお勧めしたり、その発表したアウトプットを他の人も見て、それをその本で勉強してみようかなってなる参考にしたり、次の人の-

レコメンドシステムの-

そう、レコメンドシステムを強化していくと-

ナレッジとして。だから、その、よ、だから僕としては、その書籍とかをレコメンドするってシステムはなんか入れた方がいいかなというのはあって。

そこを visofia 本体に導入するのか、コミュニティとして-

コミュニティに入れた方がいい気もしますよね。

うん、コミュニティでシャーリングされるイメージが持ってました。

ああ。

参考図書これ良かったよみたいなのをなんか読書会から-

それがまた学び合いコミュニティに-

それもそうですけど-

visofiaでレコメンド機能、イメージできます？

っていうのは、だから、あのカリキュラム、カリキュラム自体を竹田塾みたいに書籍をレコメンドして、これ読んでねっていうのが-

それ面白いできんやくね？

第一のあれなんですけど、そう、そこで脳死で起業っていうと、だからー だからこそ、その、何、What のあれにもなるけど、そのー、じゃあ何を、じゃあなんかさ、難しいじゃないですか、そのカリキュラムをこっちで考えてやるのは。無理があって。

カリキュラム、クイズなんでしょ。

クイズとか何を学ばせるかって内容を作るのは多分コストがかかるじゃないですか。脳死で学べる、それこそ脳死で学べるような脳死で起業家精神が身につく内容ってどういう、どう作れば。

Duolingoって教科書みたいなのってなくないですか？クイズがバーっとあってさ、答えていくだけじゃないですか。だから勝手に自分で今まで学んできたことをデュオリンゴでアウトプットしてる感じですよ。もしくはデュオリンゴを学びながら、自分で他の英語スクールとかに通って学んでいる。って考えると、じゃあここのインプットを自分たちでやる必要ありますか？

それもそうだし、あとその、なんか、その、なんていうんだろう、あのきっかけになればいいし。だから別にその完璧、完璧なものができている必要はないんです。Duolingoだけですべてできてるわけではないように、リーダーシップもそのvisofiaだけで完結する必要は別にないかなって。最低限入り口になれば十分。

起業、起業家精神の、あのビジネスの例文をってなんだろう、ビジネスの、あの例のシチュエーションをこう出してみたいなことになる-

が、できたらいいですよ。スタートアップのシミュレーションみたいなところで、投資ラウンド別に多分なんかどっかで私多分書いてたと思うんですけれども、フェーズワンツースリーみたいなところがあって、そのよく投資ラウンドで言われるのがシード、アーリー、ミドル、レイターみたいな、まあいわゆる資金調達のフェイズがあるんですよ。で、シード期の種の段階で、どういう何か起業家、賢の賢かストーリーみたいなところを辿らせていくっていうスタートアップシミュレーションみたいな形でできると理想だなっていうのは思ってました。が、工数でかいなと思ってます。ってなった時に、ただのビジネスクイズ形式で学べさせるような形でもいいんじゃない？

そう、逆に-

Duolingo ってそうやったっけ？

ない。

えー、でもなんかビジネス、なんか、なんか、この、しっくりこないから-

だから、だから、それで完璧に学べるでいる必要はないんだよ、別に。入り口になればなんでもいいんだよ。そこから先、自分でやれる、自分でやれる状態になれば最低限いいわけで、それだけで身につける必要はないから。そこから自分でやれる、Duolingo、例えば全部-

Duolingo。

あとは自分で勉強できるじゃん。

うん。

で、別にそこで手放すわけじゃ別にもう、俺、英語で勉強することないよって。

だけど、別に英語でやってるよ。確かに。じゃあDuolingoがどう言語学習を民主化したかをmanasさん言語化してくださいってことです。成功体験を積み上げるためのものでしかないんだよね。Duolingoって。イージーな問題しか出てこない。イージーな問題出して、できたらすごいみたいな。めっちゃ...勉強のモチベーションを湧かせる。あとなんか思ったのは、英語ってこういうものですよって例文だけを出して、なんか教えないじゃないですか。例文を出して、そこにこれ入るんですよみたいな。なんかその勝手にそういう文法を内面化させてる。これは入るんですよって言ってるわけじゃなくて、だからそれを入れてみて、操作度をして正解不正解っていうことしか言わない。実際はあなたが間違えたのはこういうところで、こうこうこういうところが間違っていて、こうしなきゃいけないみたいなのは訳分からないけど入れないでいいじゃん。単語だけでいい。単語をインプットするだけでいい。アイドゥマって何ですか？ っていうところを間違えました。じゃあアイドゥマって何？ っていうのをリサーチすればいいじゃん。Google先生とかで。それでなんでこれを間違えたのかよくわかんない。なんか例えば俺が漢字でつってもよくわかんないから、あなたに聞くように聞いたりとかしたでしょ。ポルパボウルのテストだっけ、何だっけ、クエラ、クエラとポルパボウルの違いはなんだ？みたいなことを間違えてよくわかんなくて聞いたりするわけじゃん。そうやってなんか勝手にやっていくから不正解だったら進んでいかないわけじゃない。もう一回同じ問題出てくるでしょ。その場ではできるけど、その同じような問題がまた何回も出てきて、そのたびに疲れるから、ストレス溜まって調べて、それはそれでもっと言う。解説作っちゃうとコミュニティの意味がなくなる。うん、それコミュニティで解説を教え合う文化を形成すればそっちの方が盛り上がるじゃん。解説があったとしても自分一人で学び始めるんですよ。交流が生まれないんですよ。ってなった時に、いや、もうクイズの単語だけでいい。 解説も脳神経できないからね。し、解説読んで修正しようとかやると。っていうぐらい徹底的に簡素化して簡単にしておってっていうのも、小学生でも使えるように。意味わかってなくても。

そっか、じゃあその、いわゆるだから詰め込み学習でもないけど、なんかその企業の英語で言うところのスピーキングとかは実際にやる必要はあるけど、Duolingoが担当してるのは文法とか-

簡単な文章とか簡単な単語とか。

だから、そのビジネスの文法じゃないけど、ビジネスの基本的な仕組みをこうなんとなくいろんな状況というか、シチュエーションをこういう行動をするのが正解と思われているよね、みたいなのを経験させることで理解させて、ああ、どうなんだろうな。例えばその本、書籍を読んだ方が深く学べるっていうのはあるので、なんだろう。例えばクエストでこの本を読んでみようとか、そのデイリークエストみたいな。

それは勝手にチャレンジとか、それをやっていく過程で興味が出てきて、本を読むみたいな。

それを何か推薦するユーザーフィードバックが来てからでいいと思う。それを機能を追加してって言われたらでいいと思っていて。今議論すべきって多分 MVP なんだよね。コアな機能ってのは。確かに Visopia がもう最低限削りに削って、これだけあれば Visopia っていうのを作りたいですよね。ここはじゃあやっぱコースになるんですかね。

コースにもなるし、多分その状況に応じてどういう選択をするみたいなものって答え出ないから、本当に単語とかなんかこういう、なんだろう、明確に答えのある者のうちでやっちゃった方がっていう気はしますよね。

確かにね。えーと、ターゲットはそれで、社会的意義も小さい頃からこう概念に触れる？

ああ、そうそうそうそう。

だからその学校に売り込むとかもアレです。

ありありありあり。

ありだし、学校に売り込む、学校に売り込む、ライセンス付与は考えてます。あの教育プランみたいな。あー、そうそうそうそうそうそう。ただ、売り込むのはアプリっていうよりかは、アプリは第二のツールで、メインは教育プログラムを売っていく方がいいなと思ってます。

そういうプログラムってどんな感じ？

それが起業家スクールのプログラムです。いわゆるバックエンドで起業家スクールを作るじゃないですか。それを教育業界向けに研修プログラムを類似するものを作っていって、で、ついでにおまけとしてVisopiaのアプリを誰でも機能、あの有料版も皆さん使えますよっていう状態で付与する団体とかはありかなと。なんかそういうなんかプログラムの進捗管理とかをできる機能も、なんだろう、そういう団体向けであったらいいんじゃないですかね。

あったらいいし、それもあの、なんだっけ？ AI プラスだっけ？ iプラスだっけ？

アタンプラス。

アタンプラスがやってない？それ。

そうなんですか？

アタンプラスがあそこ特化してない？AI 管理、進捗管理ツールとか。

ああ、そうですね。

ってなったらそこポジションちょっと。

まあでも、ビジネス会でのあれじゃないか、Duolingo と似たようなことしてるけど、ビジネスの範囲で。

ビジネスはビジネスですけど、教育業界の管理っていうところはアタンプラスじゃないですか。そのVisopiaの進捗管理を行うのは多分そこの管理ツールじゃないですか、結局は。アタンプラスじゃないですか。

まあでもその一緒になってるとなんかね。

そこはでも。そういう風にやらないからいい。

まあまあ、その、その直近ではそうですよ。直近ではそうですね。

でも大事ですからね。そういう成長戦略というかね。

そう、それはあるなっていうので。

はい。それからなんか発散っていくらでもできるんですよね。このスタートアップの時期って。一番重要なのって収束なんですよ。どこまで絞り込めるか。それはコアな価値、コアな顧客価値であるかどうかっていうところがチェックが必要。

MVP、ビジネスのその表面的なスキルを教えるってことですか？その成功哲学みたいな。

表面的なスキルはありますけど、表面的なスキルは。まあそうですね、結局は。でも本質的な部分はスクールで教えます。

マインドセットも軽くは入ってた方がいいんじゃないですか？

なんかその。

Duolingo のモチベーショナルメッセージあるじゃない。

あーいいね、そこ名言にするとか。

確かにそれもそうだし。

スティーブジョブズの名言みたいな。

あ、わかったわかった。本質を、本質、だからその成功哲学をメインコンテンツにしちゃうとちょっと難しいじゃないですか、これで性質上。

脳シグナル。

そういうのを教え込むのはスクールですけど、その-

Visopia はそもそも成功哲学というよりか、どちらかというとアントレプレナーシップ、起業家もしくはビジネス。

起業家精神って、そうか、どちらかというと。 そうか。まあそうですね。

哲学と起業家精神の違いを多分私たちが計画にしていないから。

そうそうそうそう。

起業家精神と成功哲学の違いか。

その。

成功哲学、あーそういうこと？起業家って、起業家、アントレプレナーシップ教育っていうのは、いわゆるリーダーシップ研修、リーダーシップ教育であったりとかにも別名言えると思っていて、プラスアルファビジネス的な観点も入ってくると思うんですよね。マーケティングとは何か、セールスとは何か、経営とは何かということが話せていて。で、成功哲学ってもう人生の本質の原理原則じゃないですか。健康とは何か、お金とは何かという。だから成功哲学の中の一部ちょっとに Visopia の、あ、違うアントレプレナーシップ教育。 起業するっていう前提のもとにあるんですね。要するにビジネスをやるっていう前提のもとで、ビジネスについてっていう。 成功哲学。そうだね、成功哲学に関しては、ユダヤ人大学校の教材にも書いてましたけど、ビジネスマスターにしなければ別に富豪とかになれないじゃないですか。会社員で富豪って厳しくない？って話ですし。もしくはビジネスマスタリー、ビジネスをマスターして、かつトレーダー、いわゆる投資家として、インベスターとして成長していくっていうところでしか、いわゆる成功、でもそこの経済観じゃない気がする。 経済的な観点というか。 自分の幸せじゃない？自己発見、自分実現。 そうだね。 そこにビジネスの部分とか、企業の部分に特化してって、どういうふうにやればいいのかっていうところも含めて扱ってるのがアントレプレナーシップみたいなもんですかね。 てかさ、この様子、動画にまとめといたほうが良くない？

あー、こういうディスカッションを。

これプロセスエコノミー化できるじゃないですか。

なるほど。

僕らがプロダクトを作る前段階でこういう議論がなされて、こういう場でこういう議論がなされていって、我々成長していきましたよみたいなところの、プロセスエコノミーってなぜ重要かっていうと、ファンマーケティングにつながる、ファンができやすいんですよ。かつコミュニティも形成しやすいじゃないですか。僕らにファンをつけるっていうイメージです。僕らが中のインフルエンサーになるっていう。

あー、じゃあ 1T のストレージ買いましょう。そして iPhone で撮ればいいと思います。

1T？

なんかあの-

普通の iPhone じゃダメなんですか？

でも結構容量食うと思うよ。 1時間とか。

いやでも、 YouTube にあげて消せばいい。

あー、え、でもみんな、その YouTube とかやってる人はストレージ使ってるイメージ。

あー、そうですね。

そういう準備をする必要がありますよねっていう。

まあでも一旦取った方がいい。 Let's Go! です。

1回数ギガなんで、別に10回20回30回一気にやるんだったら- 今やらないで。 1Tのストレージ。

(背景話)

え、なんかポロさんとワンオンワンで動画編集してませんでした？

ね。

あれ何すか？

文字の書いた動画です。

撮りました？こっち。

それ私入ってない？

入れるんじゃないですか？ はい。俺が入んないよ。

俺ー。

僕の 0.6倍とかさ。

あ、じゃあ、タイちゃんのスマホで撮れるじゃん。

え？

拡大できる？拡大っていうか。無理か。

無理です。

インカメ無理？

普通のだったらできるけど。 でもそれはどこまで写ってるか見えないから。

もういいんじゃないですか？これで。

これでね、切り取りとか発生していったらいいんだけどね。

切り抜き？

切り抜き。

ね。

(背景話)

まあ、そうですね。で、で、そっか。ちょっと勘違いしてた部分はあると思うんですけど、でも多分成功哲学もこう役に立つ部分はあるので、その多分モチベーショナルメッセージみたいな部分を通知に出すところとかをそれにした方がいいとは思います。で-

実際なんか起業家成功者の一言。

確かに。

ステイフーリッシュであったりとか。

とか、その、はい。とか何かあの優先順位を、あのプライオリティを決めろとか、主体的になれみたいな。

いいじゃん、いいじゃん。

七つの習慣のその七つの習慣ぐらいは、その覚えておいてほしくないですか？起業家になる上で。 そこで脳死で成功哲学を学ぶっていう(笑い)。 そう、そこもちょっと入ってた。あの、そこまで深くなくていいけど、そこを最初のコースで。

うん、通じとかウィジェットとか、そういう部分だよね。多分そういうのがメッセージを入れるとすれば、そういうところになんか力強い、あの格言みたいなものが入ってくると、ちょっとかっこいいっていうのはある。

そう。

その格言は別にできそうだから何入れてもいいと思います。成功哲学みたいなのを-

そうそう。 なんかサイドストーリーじゃないけど、アプリ内のさ、右上に例えばパソコンで開いたらここら辺に今日の格言みたいな感じであったり、今日の七つの習慣じゃないけど、意識すべ、あなたが意識すべきことみたいな感じで、こうアドバイスみたいな感じで、成功哲学は入ってくるみたいな。 アドバイス的、え、それってカスタマイズしてアドバイスするってこと？ まあ、それも結構なんかできそうじゃないですか。そのコースの内容を把握してれば、 AI で、まあできればの話ですけど。 まあ別に。

別にさ、テキストでウィジェットで言うという分だと、それで十分な気がする。一旦それでやって、なんかプラスアルファできるところあったら追加してくれていいんじゃない？

そうね。そう。単に、単に企業スキルだけではなく、人生全般を正しい方向に導くマインドセットを育成する。こう、人生全般を正しい方向に導くマインドセットを育成するとか、こういうことも話してた。単に企業スキルだけでなく、人生全般を楽しい方向に。まあ、そうね、本質的な能力開発みたいな。 どうしようかな。アントレプレナーシップっていうとむずいのかな。なんかビジネス教育の方がイメージしやすい。だからマーケティングのフレームワークであったりとか、セールスのラポール形成であったりとか。そのラポール形成とはなんぞや？みたいな、用語のクイズ形式で行うんだったら、の方が。

なんかある日、なんでしたっけ、あのビジネスがちょっと流行ってくるとして、アーリーマジョリティーだとかどうとか、そういう概念って-

あ、そうそうそうそう。

知ってもらうのもいいなあと。

あ、そうそうそうそう。

そう考えると、なんかマーケティングフレームワークを学べる。アントレプレナーシップ教育って言って、ね、マーケティングフレームワークとかを学べる。なんか心理学でチャイガリニック理論でこうつまんでくださいとかなんとか、そういうのを学べる。

ああ、だから、え、結構さ、思ったんだけど、そういうフレームワークだったらさ、まずduolingoのコース式でフレームワークのその理論を学びます。そしたらすぐアウトプットでいいんじゃないの？そのテストの話でさ、これやらせるって言ったと思うけど、そのアウトプットの質を評価するのって LLM で簡単にできるじゃん。で、そう、だから、その架空のビジネス A について、そのビジネスモデルキャンパスを作ってみましょうっていう課題が、そのduolingoっていろんなさ、スピーキングのやつもあるじゃないですか。その文法を学ぶコース、リスニングのコースとか、こうロードマップになっててあるじゃないですか、それでそのビジネスモデルについての章があって、ビジネスモデルとは？っていうのを学んだ後に、じゃあ実際にやってみようで、架空のビジネス A についてあなたなりのビジネスモデルを。

それをやるんだったら、それをコミュニティに引っ張ったり、スクールでやればよくない？

でも duolingo でもそこまでできるじゃん。

なんか、そこまではやる必要は。

えー、そう？

見えないな。 あ、うーん、アプリで、アプリでやる、そこまでやる？ってかアプリじゃなくて現地でやった方がいいんじゃない？

でもさ、でもさ。

だったら、オンラインイベントとかでやった方がよくない？

でもさ、絶対意識の本当に高い人にアウトプットしないと意味なくない？

それはそうなんだけど、それはさ、だから自分に興味を持ってもらって自分でやれるって状態を作るってことで。 ビジネスの視点でいうと売上を上げるポイントはどこですか？っていう、ZOPHIAっていうよりかはスクールなんですよ。だからスクールにつなげたいんですよ。学研の方につなげたい。

だし、そこまでやると脳死できないし。

うーん。

だからそれはZOPHIAで完結するっていう発想のもとにあるアイディアかなっていう印象。

駄目か。 駄目とは言わないけど、興味の段階にもっとフォーカスしたいなっていうのは。 なるほど。 それはさ、だから、例えばキーワードが下にあってさ、ポンポンと押していくのはあるじゃん。あれだったらいいんじゃない？そう、ビジネスモデルキャンパスが空欄になってて、そこを埋めていくっていうのだったら、まだまだいい。 だから、ただだから、あのビジネスモデルキャンパスとはこういうものです、って学んだだけだと全くわかんないから、そのビジネスモデルを文法として見て、そのね、わかる空欄をさ。 用語選択、四つの選択肢の中をポチっと打って。 その枠に当てはめたりとか。 多分そこまでの範囲は Duolingo でもやってるじゃないですか。

それはいいと思う。

だから自分で手に入力でザーッと文章を書けるのは無理無理。 文字を入力するのもタッチで。

わかったわかった。

ワンタッチで全部済ませたい人。

分かりました、分かりました、分かりました。

多分その何？やることとして、内容自体はいいから、多分そのフォーマットというか、インターフェイスを簡単にすれば。

はい、はい、はい、はい、はい、はい。理解、理解、理解、理解。

Yes、Yes。めっちゃいいアイディアだと思うだからそこのなんかバラエティ、いわゆるクイズの四択だけではなくて。なんか、そう、なんだろう、なんだろうな。これはなんですか？まるまるですっていう選択だけではなくて、そのビジネスモデルキャンパスが出てきて、その穴埋めをするみたいなのも一つあると思いますし、そのバラエティを増やすっていうのは全然アプリ内でやっていいと思います。ただ、ワンタッチで完結させたい。これ。

なるほど。 赤ちゃんでも使えるようなものがいい。それは盛りすぎだけど。脳死で起業そういうことでしょう。赤ちゃんはさすがに理解できないけど、５歳児？６歳、６歳、７歳、７歳。理解もしなくていいんじゃないかな。理解せずとも、この押した感覚を、楽しい、正解しましたっていう楽しいっていう感覚でビジネスに興味付けをして、自分で調べるっていう方向性にも。ロブロックスをやってる年齢層ぐらい？何で年齢層にこだわるんだよ(笑い)。その脳死ってそういうことだから。ちょっともうちょっと乗り出してもらった方がいいかな。映ってない？うん。とりあえずその状態で喋ってもらって。そこだけ切り抜きますね、じゃあ。(笑い)いやでもそう、今いいアイディアが出てきた。何でした？そのビジネスモデルキャンパスの一部を自分で埋めるであったりとか、そこからワンタッチで全部済ませたいっていう話が出てきた。

例えば、利用する上でリーンキャンパスみたいなものが必要です。なんか色々あるじゃないですか。作んないといけないイメージの資料みたいなものって。まず要件定義書を作るじゃないですか。で、何かいろいろ考えてって、ビジネスモデルキャンパみたいな何か色々作って、その業界を分析するために、なんか分析のマトリックスみたいな。みたいなのを、あ、そうそう、それぞれ穴埋めして。 それをコースにする。 今見えた、今見えた。今見えた。

今見えた。だから、その、多分セクションワンとして一つずつ、あの、要件定義について学びましょうっていうセクション。最初はなんかゆっくり進むじゃん。で、次にこれについて学びますっていうので、多分いろんな業界について、例えばA社はメディカル系でやってます。その、なんかビジネスモデルキャンパスを作りましょうで空欄でいいと思うんだけど。で一個ずつ学んでいった後になんかあの、こう垂れてくるじゃんDuolingoって最後の方。その段階って全部の文法とか分かってるから、多分その段階になったらあのA社についてビジネスの戦略を最初から最後まで立てていきましょうっていうのになって。わかる？なんか最初のコースは要件定義です。次はこれをやりますって。 最初からそれでもいいんじゃない？

まあそうね、まあその。

例えばじゃあそのコース選択みたいな形にして、自分がその興味がある業界とか、例えばこういうに詳しい人はのスタートアップの形でビジネスキャンパスなんだらかんだらっていうそのマトリックスの定義とか、その辺のなんて言うの？そのコースの一個一個の段階は共通してるんだけど、やることは共通してるんだけど、業種が違うから安定する内容が違うだけっていうコースを多分４、５、例えば４、５種類あったら、多分そのそれぞれの興味のある業種で最低限ビジネスの流れがわかった状態になって、コース終わってそこからコミュニティに入って、じゃあやっとかスクール入ってやっていこうかみたいな。それはいいと。

見えた。完全に見えた。今一番最初、当初イメージしてたのはQ＆Aっていう形で、Qで文字がバーって、これって何ですか？みたいなところからアンサーでこれっていうのを選択するイメージだけだったんですけど、多分タカさんが今言ってくれたので、マトリックスみたいな図がボーンって出てきて、ここの例えば売り手の脅威っていうところだけが穴が開いていて、それを 4つの選択肢から選ぶっていう。それめっちゃいいと思っていて、これのフレームワークが絵で入ってくるじゃないですか。これって脳死の状態じゃないですか、ぶっちゃけ。このフレームなんかあったな、これって何だっけ？っていうところから想起できると思うんで、これは価値あると思うんですよ。だから文字ベースのQだけではなくて。 それは思ってました。いや、そうなんだけど、え？そうなんですけれども、そこからあの、何を言おうとしたんだっけ？そう、イラストの提示っていうところがどこまでできるんですか？っていう話があると思ってるんですよ。ここのなんか理想はこれなんですよね。理想はこれでなんか穴埋めしていくっていうのが理想なんですけれども、それって AI でどこまで実現できるのかって、フレームワークの図、どこまで作れますか？

多分なんだろう、Duolingo って図ってそんなあれじゃなくてアバターじゃないですか、基本。だから、ある程度少ない種類で図はできるとして。

これは何ですか？って言って単語を選択しますとか、なんか図が出てきてもその程度な気がしますけどね。

ビジネスってそうね、多分。

そもそも、そもそもなんですけど、さっきのやつ見せてもらっていいですか？そもそもこの分量をスマホに表示するということ自体に無理があるじゃないですか。そこをどうするかはちょっと難しいなとは。これぐらいだったとき、そうそう、これぐらい。それはやり方、見せ方の話だと思います。 あーだから、分析、これなんですか？っていうファイブフォース分析が頭に入るじゃないですか。ファイブフォースって何かあったな。

だから、この図全体表示するんじゃなくて、このペストだったらPの部分の問題があって、Pに入るのは以下のうちからなんでしょう、でポンポンポンってやっていって-

もうありだと思う。

次の問題に行ったらいいって。そこは別に。その、わかる？

なるほど。 それもあり。 こうじゃなくて全部やって、分けていって。 これに当てはまるのは何かっていうところではそれはありだと思う。確かに。そうね、確かに確かにそうだ。で、Duolingoはその辺、最初はそういうのだったんだけど、だんだんライティングのやつとか、スピーキングのやつとか、AIエージェントが出てきたから、同じように機能を追加していけばいいと思う。 Yes。だからこれが MVP になってくるって感じですよね。 その中から選択するみたいな形で見えてきた。ビジネスで必要な各資料の作り方とか、その存在について知ってもらおうっていう。

めちゃくちゃめちゃくちゃWhat？の話になっちゃう。

その情報が入った状態で、例えばその情報が入った状態で例えば来れば、そうそうそうそう。別にこの資料をそれぞれ作ってくるだけで、流れ自体は最後まで見えてるっていうのが。 共通言語ができるんでグループディスカッション盛り上がりやすいです。マーケティングフレームワークとか全部入ってるんで、どうやって新事業を生み出すかっていうところも速攻できるんですよね。ってなったら、起業、結構本質的に起業って増えていくんじゃないかなと思っていて。そこはなんかバックエンドの部分で本質的に起業スクールを作っていきたい。 それのフロントでなんか足並み揃えるためのものでしかない。

はいはいはいはい。

かつモチベーションを上げるためのものでしかない。

だから、あれか。ある意味スクールがパーソナライズしてるというか、そのアイディアはアイディア各々のアイディアを発展させるっていうところまでアプリでは対応できないから、そのビジネスの基礎スキルみたいな、その起業の基礎スキルを身につけた上で、それをどう活かすかっていう具体的な内容はスクールでやりますと。

どう活かすか、個人の自分のアイデアにどう適用していくかっていうか、それぞれに同期が適応するためにどういうふうにやっていく必要があるのかっていう。

そのスクールで AI エージェントがあればなおかかじになるというか。

めっちゃある。そこを有料プランにしたい。基本的にはこれ、なんか脳死でいいんだけど、そこでなんか AI エージェント相談機能みたいなところをサブスクリプションすることによって、広告削除プラス AI エージェントが使えるってなれば、それはアプリだけで収益。例えば一人千円とか課金してもらうとそれだけで収益。一人ユーザー三千円だとしたら、一万人ユーザーできただけでどのぐらいですね、三千万円。

アプリの有料プラン。

そう、アプリの有料プランをそこで作れるんですよ。だからスクールにつなげなくても収益ができるように。

あ、それはそうですね。それはまあやりますよっていう感じですね。やりますね。

でも確かに AI エージェントは有料だね。 絶対有料ね。てかそもそも AI のその活用自体が API だけになってる。 AI を使える状態にするだけで金かかるよね。利用する権利が。

そう、サーバーとか用意するにもなるけど、多分俺らだったら API でやることになるよね。

ってなったらそれも金かかるから必ず。

え、でも Deep Seek 安いですよ。

あ、そうなんだ。じゃあ Deep Seek で十分や。

てか、喋れるの？ あー、まあそっか。喋れ、AIエージェント、え、AIエージェントとしゃべるっていうイメージだったんだけど。 チャットでもいいんじゃないですか？ ね、って思った。 スクールまで来てる人には別にいいでしょうから。 うん。あー、まあでも多分 AI エージェント、あのエージェント API みたいなやつがChatGPT出してたので、あれも使えそうだし。 有料で使って、それを有料のを使ったのを有料プランで解除すればいいのだし、何なら多分今年中に AI エージェントは実装できると思う。その多分今年一番今年一番整備されるところじゃないですか。全リソースがそこに行くので、簡単にどんどん作れるようになると思うんで、それは多分今年の後半ぐらいには実装できてもおかしくはないとは思ってます。 エージェントは今あれ音声機能の話してる？ 音声機能というか、なんか何て言うんですか、この人間のように対話できるというか、いろんなツールを使ったり。 勝手にパソコン操作できるように。 そう、そう、そう。 その話ね。 まあ、パソコン操作が若干違うけど- 機能は多分ビゾフィアにはいらないよね。 いろんな知能があって- エージェントをどこに定義- 対話機能もそこのビゾフィアにつける必要あるかっていうのは、そんなないんで。 まあ、だからスクールの時の学習コーチ。 スクールでコーチ？ スクールの時の学習コーチですよ。 学習コーチもそうだし、多分有料アプリの有料プランであるとしたら、学習相談というか何かでもエージェント一回実装すれば結構できることの幅が広いと思うから、アプリ内で完結して、そのアプリ内で収益を見やすくはあると思う。 なるほどね。 そう。で- 展開は- ほら、プラスプラン、プロプランとか用意したらさ。 特徴性は高いから。 たくさんやりたい人、多くの機能を使いたい人、プロプランでさ。その対話したいだけならプラスって- あると思います。 できると思います。Duolingo も二つあるしね。エーアイエージェントがあるのはプロだけど、広告内とかそういうのだけはプラス。OK です。それにしましょうか。改めて MVP の整理ができたらなと思っていて。MVP、MVP のフェーズマンっていうのもおかしいけど、まあいいや。MVP のフェーズマンに関しては、クイズの文字ベースのキュー＆エーのみ。 なるほど、はい。そうですね。 で、そこから図式ベース。うん。で、そこからその業種、業種でなんかこう作ってみとか。業種別の、業界何業界なんて言うの？ ユースケースじゃなくてモデルケースの作成みたいな。 増やしていく。 数を作っとく？ あーインダストリー別、そうそうそうそう。 そのロールモデルというか、ビジネスロールモデルみたいな。ちょっと解像度を上げたいな。ビジネスロールモデル、ビジネスロールモデル？そのストーリーができる。 だからあなたは、だから、これからこのとある業界で、例えば教育業界でこういうビジネスを立ち上げたいです。で、立ち上げ段階でいろんな仲間たちといて、みたいな。 で、それでだから、私が言ってるのは、その普通にただの図式のQ&Aのところに、例えば要件定義書の穴を埋めるだったら、穴以外のところは埋まってるわけじゃないですか。その埋まってる内容が、えーと、例えば何、AI 業界ならその AI の話が入ってくわけで。それで AI 一種類しかないと多分ちょっと微妙かなと思って。そこは例えば教育業界、 AI 業界、えーとなんとか業界、いろいろあってもいいかなみたいなのは、３つやってみたら？っていう。 多分- MVP に入って- いいと思っていて、 MVP でランキング機能みたいなところも追加できると思うから。業界別でね。それはありだと思ってます。だからであれば業界別にストーリー作った方が良くないと思うか？ ストーリー？ いわゆるその教育業界におけるスタートアップのストーリー、シミュレーションだったりとか、 AI を立ち上げるのであれば、 AI 企業のストーリーであったりとかに乗せていくっていう方が。 ああ、だから、あのストーリーごとに要求されるそのアウトプットが違う？ Yes。 っていうので- ここがもし製造業だとしたら、まず初めに工場を準備しないといけないとかあるじゃないですか。これって SaaS 事業だったら工場の準備とか要らないですよね。 うん。 ただ、アプリでプロトタイプを開発していって、そこからマーケティングを行って、コミュニティ形成して、グローバル展開みたいな流れになっていて。もうバリューチェーンというか流れが全然違うと思うんですよ、業界別で。であれば、業界別にする意味っていうのはありそうだなって。 そっかそっかそっかそっか。 業界って全然違いますよね。 全然違う。 全く違いますね。それは多分 MVP でフェーズワンでやるのは厳しいところだよ。 確かに参加、まあでも- 文字ベースでやって図式ベースにして、もうちょっと違うような気もします。 まあ、でも- もうちょっとやり方あるような気もする。 ストーリーの作成は多分 AI でそのできると思う。 あ、いける？ でも都度都度 AI で生成すると質を担保できないけど、多分 AI を使って一応その上側でレビューするっていう風にしたら、多分結構、なんか 10個ぐらいできるんじゃないですか。そのフォーマットを決めちゃえばいいじゃない。 フォーマットが一個できれば増やすだけできそう。 その知識は別にするのは簡単か、LLM自体に幅広い知識あるし、検索できるじゃないですか。 まあできるはず。 そうそうそう、じゃあそれでいきましょうか。 まあ MVP の次の階に入れてもいいか。 そうだね。 じゃあ、それが三段階目でってなってくると、ほぼなんかそれで終わりません？あと細かいランキング機能とかつけるみたいなこと。 そうそうそうそうそうそう。 ランキング機能とか、ユーザーの興味を引くような機能、あと- コミュニティ、コミュニティ機能？ ウィジェットにさ、格言を表示するみたいなのは多分 フェーズで細かい機能を埋めてってことになるのかな。それ MVP じゃないのか。 一旦これで。 一旦これで。 これで MVP でいいんじゃない？ プラスアルファだね。 そうだね。 コミュニティはベータとかになりますか？これがアルファだとしたら、まあ MVP の次の段階とか。 MVP の次がアルファかな。 ってか、これそういえばあれか、あの、この段階で竹田塾という概念はもう消えた。 消えたね。ごめん。まあでもいいんじゃない？こっちの方が。 武田塾はどっちかと言ったらスクールの方だから多分- 参考図書の話ですよね。 そう、そうです、そうです。 カリキュラムとか。 まああの当初に限らず、このコンテンツいいよとかあると思うんですけど、今思ったのは、そういうのはスクールで教えられるような- 学び合いコミュニティとか。 うん。で、そこでそういうレコメンドシステムがあっても、それはそれでいいんじゃない？ 効率化になるのはすごくいいと思います。 けど、アプリは確かに違う。別機能、別システム。 なんかちゃんとアプリっぽくなったか。これ見えたね。 で、コミュニティはどうなりますか？これは。 コミュニティアプリ内にできるの？ その、コミュニティっていうかだから、要はランキングとか、その質問し合うのもなんかアプリ内で昔 Duolingo にもあったんですよ。それはまあ別でもいいけど。 結局入るところ、Duolingo って言った。Duolingo ってベンチマークかなと思っていて。あの、ここにバーッと出るじゃないですか。ランとかサンプルがアウトレットショップであったりとか、ここになんかAIエージェントであったりとか、あと何だっけ、ランキングであったりとか、あとクエストであったりとかも追加されていくイメージで、初期はこの覧のみっていうイメージです、私は。 うん、そうですね。 MVP はこれですよね。 で、欄の中からさらにここの選択するとアメリカ英語以外が選べる。これがインダストリーのイメージ。 あー完全、完全、完全、完全だ。 (歓声) だからなんだ、あ、だからこういうのがあるよね。 わかった、わかった。ここのコースであって、ここになんか学んだこと一覧というか、何て言うの？ うん。こう、概念一覧、ビジネスモデルキャンパスがあります、みたいなのがあったりしてもいいし、クエストは、まあ毎日レッスンやる-

成果物みたいな？え、どういうことですか？

確かに。せ、成果物もそうですね。 フェーズ４は成果物じゃない？フェーズ４、思ったけど。

どういうこと？

待って、まずここを回収して。 ここの話を終えてほしい。

その、そのさ、あの、学んだ概念をまとめておく。

学んだ概念をまとめておく？

そう、参考書じゃないけど、資料というか。

ああ、なるほど。コレクション化するみたいな。 ナメコキッズ的な感じでさ、そこのフレームワークを自分で学んだのをコレクション化されておくってこと？

そうそうそうそうそうそう。

バッジみたいなのをつけて並ぶみたいなこと？

学習書じゃないけど。

面白い。 NFT化してもいいかもしれないですね。

だから、これって発音とかじゃない。俺がそれを見て思ったのが、だから、これって言語の基礎単位みたいなことだけど、ここに、あのー、ビジネスのなんか、わかるかな？ビジネスモデルキャンパスはこういうものです、とか説明があったり。

説明があるわけね。

用語集みたいな感じ？ビジネスの。ビジネスの用語集みたいな。

学んだことの用語集。学んでないものは黒く塗りつぶしていて-

ああ、確かに。それもいいです。

で、学んだのは5Fみたいなのが書いてあって、ここの5Fをボタンを押すと、そのずっと何か説明が書いてあるみたいな。

やった後に初めて解説が見れるっていう状態になってると良いですよね。 より解説を出てくると、うっせえよってなるし。 学んだ後に詳しく知りたい時にはアプリ内でそれがちょっと見れるっていうのは-

振り返りたい時用に。 そういうのはありかなと。 ユーザーとしても嬉しいんじゃない？

リーダーボード。これいいよね。これね、俺結構これ好き。リーダーボード多分-

これって何？リーダーボードって。ランキング？

これ見てもらって、私のやつ見てもらった方がいいですね。えーと。

あとショップ機能とかでね、課金制度、課金させたいな、課金して欲しいな。 だからこれじゃないですか？フリーズじゃないですか？フリーズ。

フリーズ化せよう。これです、これです、これです。これがあって、これ大体20人か。 グループができるんですよ。で、リーグがあるんですね。で、一週間のあの、XPってのは要は学習した量-

経験値みたいな。

そう、経験値をいっぱいためると次のリーグに行けるんですよ。一個ずつ上がっていけるんですよ。

おー。

で、こうやって上がっていける細かい単位でチームみたいなのがそれぞれあって、その中で-

それおもろいね。

上がっていく。逆に勉強しなくてこの辺に入っちゃうと下がるんですよ、リーグが。 それもモチベーションになってるんですね、それいいね。経験値しか入れてなかったわ。全然入れてなかったわ。

なのでランキング機能ですか？フェーズ四。

Duolingo なんか復習機能みたいなね。あれで。

そう、それもイメージしてた。この、これよ。ワーズ。

あーそれでいうと、-

ワーズのところで-

だから、要はさっき言ってた、やったものの解説を改めて見るみたいなことができる。

そうそうそうそうそう。

やっぱ Duolingo すごいね、その考えると。

そうですね。

だから望むものすべてがある。ユーザーが望んでいるものすべてがある。

これをなんか真似ようとする取り組みは今までなかったんですか？ You are the LEGEND by completing here. ああ、こういうのもね。 バッチ機能みたいなね。 これなんか- だから、あのー。 SBT で発行するとか。 あれを、だから、あなたは AI 業界のプロです、みたいな。AI 業界のビジネスの仕組みについてって解釈みたいな。 表彰みたいな、表彰っていうか、何か- 確かに。 をもらえて、それわかんないけど、例えばなんだっけ、MBA、大学院の入学の際の証明書みたいな。ビジネスについて学んできましたの入り口にするのもありだと思う。 Duolingo って英語試験やってんだって聞きました。 それにも繋げられますよね。

Duolingo なんじゃ、あれ。

Duolingo って何？

Duolingo の英語のスコアっていうのがあるの。

え、なにそれ。

それ知らない、知らない。大学に入るのに使えるんですよ。

うん。あ、めっちゃいい。それ。どっちかといったら、 どっちかといったらMBA 入ってほしくないけどな。入らないでビジネス始めてほしい。

それは成長シナリオの話です。

そうですね。

未来の話です。

でも確かに。

一旦機能としてはこの三つベースで、あとは追加開発の話だと思っていて。追加開発も結局は Duolingo ベースで一旦作ってみて、フリーズを買わせるかとか、そういうのも-

ランキング機能もそうですね、ランキング機能が。リーグとか復習機能とか。

管理するための機能とか、あとウィジェットとか。

ガチャはないですよ、Duolingo。なんかないからいいんじゃないかな。

機能ってさ、それでこのイラストがめっちゃ色んなのがあって面白いんですよ。

あの、頭おかしいんですよ。

今泣いてる、自分。

頭おかしいんですよ。

メンヘラ化してる。今。

あー、泣いてる？

このウィジェットってどうやって設定するんですか？アプリ内で設定する？

いや、アプリ内じゃなくて、ここで自分で。

自動、自動で。自動で。やってなければ無くし、やってたら喜ぶ。 置けって、なんかあの、アプリ内で催促されます。

押すとウィジェット化されていくのは分かるんですけど、そのなんか設定とかはアプリ側で、この絵とかは作ってるってことですか？

アプリ側で作ってます。この中身はアプリ側のものです。

そうです。

ここに格言表示すればいいんですよ、多分。

そうそうそうそうそうそうそう。なんか、ナイスね、みたいな。今出てるじゃないですか。それをなんか-

あ、ローマの顔(笑い)

ローマは相手に言わない。

(笑い)確かに、確かに。

僕の、あれの。

キャラクターからのひと言みたいなのはありだよね。

持ち出しも-

そうそうそう。

あ、だって、いや、それ、思いました。

起業家の顔と名言。起業家さんのこういう顔と名言。

それ、それいいのかわからないけど、イラストにすればいいんじゃない？

あー。

著作権的にまずいってこと？

そうそうそう。

勝手に顔使用するとかはなんだけど、まあキャラクターっぽくして。

そうだね。どこまでいいんだろう。

まあ、でも-

VISOFIA のメインキャラクター-

そう、そうです。

それをなんか、っぽくすればいいんだね。

うん、だから、ぽくして、そいつが言ってること、そいつと、そいつの顔と、名言と、その名言を言った人。

じゃあなんか Visofia にとってのデュオみたいなキャラはどんなんだろうね。

それもなんかIP、IPだね。 そう。グッズにもつながりますね。一応。 そう。 ま、画期的・・・

IP ビジネス確かに強い。あの SNS で、あの SNS 戦略もできますしね。

うん。

ここまでなんか真似ていいんだろうか。

まあでもパッケージが違えば意外に違って見えると思う。

なんかその Duolingo の-

大手企業なんかそのまま真似てやってるわけですよ。

そっか。

で、これ大手の、大手が、大手の参入障壁を設けないといけないと思っていて。そこを何か-

ああ。

例えばグロービス経営大学とかベネッセが入ってきた時に勝てますか？みたいな。 同じものを作られた瞬間に理想的に負けないってなった時に、じゃあ何がっていうのがなんか、ああ、って思うんですよね。その競合の障壁に関しては、ひとつはコミュニティだと思います。

スクールとかは別に他にもビジネススクールいっぱいあるわけで。

Yes、yes。

なんで、コミュニティ、そこに人がいるとか、例えばその中に有名人がいるとかあれば、それは絶対あの、絶対的に勝ちというか、この、このアプリをここまで終わらせたら、この人がいるコミュニティに入れます、はものすごいいいと思って、モチベーションになるし、情報を使わないでいいのになると思うので、その辺はみんなでみんなで作って、誰かやめたくなったらやめるみたいなのもあります。

あとはなんかユーザー大企業病じゃないけど、なんかユーザー本位にしたい、なんかユーザーの意見をめちゃくちゃ取り入れてくれる柔軟性。

あ、そう。大企業ができないのはそれなんですよ。

うん。

柔軟的に動けない。ユーザーのフィードバックであったりとかを反応的に対応できないんで、そこはスタートアップの強みなんですよ。迅速にすぐにユーザー目線で対応ができるっていう。本当にユーザーが求めている価値あるものを作れるのがうちらだと思うんで、そこのスピード感であったりとか。

爆速プロトタイピング。

Yes。あとはまあやっぱコミュニティから来るユーザーのフィードバックとか、ユーザーの声を聞いて改良してますよっていうところ。が、まあ結局半分開けていいのかな。

いいんじゃないですか？What？Whatめっちゃいいじゃないですか。で何？一応一応who？

Whoは変わんなくない？

Whoは Whoはまあ変わんないけど、大学生ですか？一番はそう、一番はもう TIB にいる人、あっちが一番はこの三人。なるほど。

私たちまだビジネスはフレームワーク習得しきってない人だもんね。フレームワークっていうか、起業系、ビジネスカンパニーとか、いまだに知らない人がほとんど。

だから、その、そうか、でも脳死で学ばせたいっていうと中高生も入ってくる？

あの、最終的にはもう全部幼稚園まで。

ああ、なるほど。

最終的にね。

でもやっぱ実践的というか、その-

メインは起業、そう起業を考えてる、もしくは起業に興味がある、もしくはなんか、あの自分を変えたいというか、変えるきっかけが欲しいという人たちですね。

大学生というか、その行動に移せる年齢というか。

うん、自分で裁量を持って動けるは前提として。中学校とかだと小学校とかだと、やっぱ親の確認がそうですね。

だから多分そこだと学校でパッケージとしてリスクなしで起業できるみたいな。

YES。

なるほど。

まあ学校を巻き込むのはいいかなと。だから高校、大学、社会人も自分たちも。感じかな。年齢でいうと十八歳から二十五。

うん。ですかね、以外ですね。それはまあ割と、そうですね、将来のキャリアを考え始める大学生とか、最初の一歩を踏み出せないと、確かにね。

最終的にはおじいちゃん、おばあちゃんも使えるようになっていると面白いやと思います。ケンタッキーのカーネルさん、七十歳ぐらいから起業してるじゃないですか。ケンタッキー。あれみたいな形で、例えば福祉施設、老人ホームとかにプラホモって提供して。

なんかあの。

思考トレーニングですよって。

なんか資産、資産はあるんだし、そのやろうと思ってくれれば結構なんか社会に貢献できる何かができそうな。

何かしたいって必ず思ってるんですよ、彼らって。そうですね。余生残されてセカンドライフ何しようかって思ってる中で、初めて自分の人生について考えて、これやりたかったみたいに見えてくると思うんですよね。それの機会にも。だから彼らの生きがいにもつながってくると思うんですよ、起業権って。可能性しかない。子供たちだけではなくて、おじいちゃん、ばあちゃんたちも可能性が広がっていくようなビジネスになっていくんじゃないかなと。これこそ教育のイニシアティブでしょう。

なんか、じゃあこれはWhat?結構変わってんな。 What a そのマインドセットに重点を置くはこれはもう違いました。で、これはもう違います。

アプリにそれは変えられない。そうですね。

七つの中間を具体的なコンテンツ創出して想定できる。そうじゃないね。ビジネスモデルキャンパスとか。そうですね。 確かに確かに。確かにそのアプリになんかそうですね、なんか人にこうマインドセットを叩き込まれた方が合理そうですね。そう、コミュニティ-

常にやっててマインドセットは身につかないので、結局やって行動とセットだし。

うん、そうね。

思考パターンを変えないと。それが成功哲学です。行動指南で読んでても忘れるから行動しないといけないって。根本の思考であったりとか、感情をコントロールできるようなことがあって初めて、企業のマインドセットが作られていくということです。

なんか学習記録をタイムラインで記録できるとかいうのも言ってたけど、これはどう？

これはだ、本とか書籍とかそういう形の学習が前提だから。

学習記録って頭プラスにいやー頭プラスでいいんじゃんっていう話。

いや、スタディプラスみたいな。

その書籍でやろうって、武田塾の要素を入れようって言ってた時に-

書籍でやるんだったらスタディプラスみたいな要素もセットで入れられるといいよねっていう話です。

まあでも友達がどこのリーグにいるとか、その今なんかどこ業界をどのぐらいやってる？みたいな、そういう学習進捗が見れてもいいんじゃないですか。

それはランキング機能のあれじゃないですか。

そうそう、そういう関連で。 Duolingoってだから、SNSじゃないもんね。

Duolingo もさ、あれじゃん、なんかさ、なんでこの人が何レベルになりましたとか。

でもなんかチャットみたいのはないから、多分そこをあえて作らずに。

確かにね。

チャットそこ入れた方がいいのか、その作らずにコミュニティに誘導できるっていう風に。

導線は必要だと思う。

アプリの導線は必要だけど、アプリ内で一応コメントを作るのは、あーでもそれぐらいで十分じゃないですか。確かに。

この人がこのレベルに達成しました、とか、この人が何日でああいいじゃん、セレブレーション機能。とかいうのをいいね押して。もういいじゃん。コメントとコメント評価してる人はコメント。

すごいって。だからなんかちょっとそこ作っちゃうとノースリップできない。その SNS 化しちゃうと、スタディプラスみたいな要素を入れちゃうといっぱいいっぱいすぎる。いっぱいいっぱい。結局そう、なんか一人で勝手にやって、そのなんて言うのか, なんか応援してくれる人がフレンドに勝手にいるみたいな状態だから続いているみたいなのがあるので。

しかもこれいいのがセレブレートすると通知来るんですよ。

そうそうそうそうそう。

セレブレートされた側に。ですから、またそうだし、それで通知来たらまたアプリ開くきっかけになるんですよね。っていう仕組みになってるんですよ。

それさ、なんかアプリでつながるっていうか、その機能を通じてコミュニティでなんか喋れるような形態を作るっていうのはどうやって作る？

そうそう、そのコミュニティの導線をどう作ろうっていうのも。

参加権を上げればいいんじゃないですか？例えば、言ってるとこまでこの人参加したら認証して。コミュニティ内で名前検索すれば出会えるか。なんかそこの導線は作れればいい。

なんかあれはホヨラボみたいなあるじゃん。原神のさ、ゲームで繋がった人と、なんかそのゲームについての情報をシェアできるさ。ホヨバースじゃなくてホヨラボあるでしょ。そう、なんかさ、っていうのがありまして、ホヨラボっていうのが。コミュニティ、あのコミュニティはアプリとして作る方がいいんじゃない？なんか DISCORD とか外部ツールにやるより、ここのなんかソフィアの会社が出してるコミュニティなんだってわかった方が、あの独自のそのプラットフォームって話もあるし、コミュニティ、なんか DISCORD とかにつなげるのってなんかちょっとあれじゃないですか。

別でもう一個アプリを持って、これがその、例えばこれホヨラボってやつは原神っていうゲームを作ってるミホヨってとこが、あの、出してる。

原神が出してる SNS アプリ。

原神とセットで使えるみたいな形で、例えばこのアプリを入れてるとスタミナ消費みたいなのをするんですけど、なんかスタミナが満タンになったよみたいな通知をウィジェットで出せるようになってますよね。っていう風に。これ、これアプリ二つ作って二つを連携させるんですよ。

連携したら便利ですみたいな。あったらみんなコミュニティ行くよね。その学べますだけじゃなくてね。

なんか例えば月でこんなキャラ出たとか、なんかこういうのをシェアしてみたいな。ミホヨのいろんなゲームのあれが出てきたりとかはします。

盛り上がってる？

もう盛り上がってはいるんじゃないですか？大体入れてますよ。なんか原神ちゃんとやろうと思ったら大体みんな入れることになります。

(背景の雑音)あ、確かに確かに確かに。ね、そこ-そこで多分ま、あの、自分、あのSNS機能みたいな。

原神の、そのゲーム内にある通知をこういう風にしたりとか。 ゲーム内でこういうイベントがあるよみたいな通知が。

イベント通知ね。きょーちゃんさん。

ん？

今日やってますか？

今日繋げときます？ うん。そうね。

確かに。あ、で、その、なんだろう、例えばそのなんかスタミナがわかるとかの便利機能はさ、ヴィゾフィアでいったらどういうのなんだろうな。

例えばだから連続記録が切れちゃうよみたいなとこじゃない？

それはなんかデューリングで解決してる気もするけど。

アプリでもSNSアプリでも盛り上がるイメージが湧かない。 うん、だからそれは普通にDISCORDのリンク貼れば別にそれでいいような気もする。できたい人だけ来ればそれで良くない？っていう気がする。それで成功してるものもいっぱいあるし。

SUPER ANIMAL ROYALEとかなんかそうね。

DISCORDとか、アプリゲームやるとDISCORDをつなげてっていう。 アプリ開発の工数- を考えた時にDISCORDつなげてやればよくね?っていう。

あー、確かにね。

十分に拡張性、十分に。 これもユーザーフィードバックでも独自の作れってなったら作っていく方向性でいいんじゃないかなと。

そうっすね。

直近必要性をあまり感じない。 もしくは別にそれ UGC でもいいし。

うん、確かに。

アプリである必要もないしね。そんなコミュニティだけじゃなくて、サイトでもいいし。

そうね。

それをコミュニティ内で必要だって話になれば、 UGC でみんなで作ろうってやるべきじゃないですか。 そうっすね。

ちゃん、ちゃちゃちゃちゃん、ちゃんちゃん。今日あの話してる時興奮しすぎてこのカメラの外に行っちゃった。あー、合ってない。この位置で興奮して、画面外で興奮するんだ。

あれに、興奮すると前のめりじゃなくて後ろのみになるんだな。(笑い)

(笑い)確かに。

前に出てこないから。

いや、そう考えてる時だから。前は近づいても。

今のごめー、ステップ何て言ってたっけ？ ん？

ステップ。えっと、何のステップだっけ？何の話してたっけ？

ん？

そうそう、編集はちゃんとエンターしないとですよ。

とりあえず最後、コミュニティで (不明) 。

今今今、今は話してたのって何でしたっけ？

SNS機能。 SNS機能、コミュニティ、あ、そうだ。挑戦だ。

挑戦か。

(過剰な反響) DISCORDリンクピッとあれば別にそれでいいんじゃないですかっていうリアルゴーストを進めていくに対して、DISCORDリンクをピッといわれると。 アプリの何から挑戦引きます？ アプリの- 例えばラン画面ってあったりとか。 だから、例えば一定のコースを完了しました、おめでとうございます。この新たなこのプロジェクト参加できますけど、どうですか？とか。

えー、でもなんかさあ-

基調講師でコミュニティにつなげる。 そう。 とか、基本的にはじゃあコミュニティのボタンはない状態？

あれじゃない？なんかさ、バッチじゃない？ バッチで例えば一つの業界を一つの業界を極めた人は-

式拓革ね。それ学び合い、学び合いにならないと。

え、でもさ、その進捗のあれって言ったら。

ま、だから、ちょっと前のやつ。ちょっとでもいい。別にその、これは。ただ、最初からは何もやってない状態でこの入室しますよという- 特別感があっていいかなって気がする。

だから週間以上続けた人はぐらいでいいかな。

それもいいけどw

(背景の雑音)あれはいいけど、どれもいいけど、その、なんかある程度やった人に対して特典としてあると、コミュニティの。

その方が欲求は満たされやすいね。特別感も出るし。 そう、そう、そう、そう。

限定。あ、わかった。 だからあの、なんだ、よく頑張っていますね。うちのコミュニティに入ればもっと深く学べますよ。みたいなポップアップが出てくる。

怪しすぎ。 まあでもどちらにせよ、まあそんな感じ、イメージですね。

その言い方はね、あの人。

あれであれで。 コミュニティ...そうね、コミュニティ...学び合い、コミュニティ、なんか...

え、でもなんかそういう方はそういう、いわゆるコミュニティじゃなくてゲームのコミュニティみたいなというか、そのなんて言うんだ、こう、盛り上がってますよみたいな。

ゲームの、例えばDISCORDさ、画面のロビー画面のはずに-

そうそうそう。

(同僚の会話の音)だけれども、別に何かやってるわけじゃないんだよね。

あ、だからフィードバックをください。でもいいんだ。フィードバックをあの、やったり、もっとあの、交流して、アプリで学んだことについて、こう、あの、学び合ったり、あとは自分の考えてるアイデアを共有したりできますみたいな。

アプリについてのアウトプットのか、学び合いってヴィゾフィアの中身の学び合いなのか、もしくはなんか関連して AI を教える人がリーダーシップを取って、そこで AI の学び場が出来上がってのコミュニティなのかで軸異なる気がしていて。 そっちもありじゃないですか。

うん。だからあのディスコードのイベント機能でさ。

うん、だからそれを主催する人もいれば、参加する人もいるし、逆にその中でもチャットで交流が行われてたりとか、議論が行われててみたいなのもありますね。

それなら結構さ、そういうコミュニティあるし、なんとなくイメージは湧くよ。

そういうのをしたいんだったら、やっぱそれこそDISCORDのイベントねっていう。

あ、でさ、あれよ。DISCORDだったらチャンネルをさ、業種ごとに作ればいいんだよね。

うん、そうだな。

よくあるよね、そういうの。

あいいね、いいね、いいじゃん。 やっぱ国によって-

で、実際に起業、だから起業についてアドバイスを受ける、あの、チャンネル？とか、学び、学んでいることについて質問するチャンネルとか、あの、そういうのがあるよね。主宰したい人のチャンネル。ついて、確かにそういう具体的なチャンネルイメージしたらイメージが湧いたわ。

で、そういったコミュニティにある程度進める前に、ある程度ヴィゾフィアを進むコースを進めたり、続ければ入れますよ、でつなげるのが自然かなって。で、その先にその DISCORD 内のイベントに参加できる権利があってとか。

まあでもさ、でもさ、別にアプリから入るでもなくても、その、単に起業について、起業について学べるおもろいコミュニティをこちらが運営してますよっていう立ち位置でさ、普通に何かネットで調べて見つけた人が入ってきてもいい気はする。どうなんだろう。そこからヴィゾフィアに入るっていう導線もあるじゃないですか。

逆もしかりか。 コミュニティからヴィゾフィアに。

そうそうそう。

あー、なるほどね。

そうそうそうそうそうそう。

確かにイベントで知り合いました、で- イベントでコミュニティに入ることは入れて、なんか一定のロールを貰うとかいうことである程度進める。

それも貢献してくれたらさ、それも積極的な発言して貢献してくれたら昇格しますでもいいとは思うし。

だから、だからその。 もちろんそういうこともできるけど、あの、何、なんだろう、その発言によって上がっていくグレードとは別に、何かしら称号的な意味でのバッジが付く。 DISCORD内の名声として。色、名前の色変わったりするじゃん。

コミュニティコントリビューターを開けば。

いっぱい進めた人はさ、こう、なんていうの？例えばなんかあれや、上の方にズラーッと何かランキング的な形でさ、表示することもできるじゃん。そのロールのさ、順位をつけることでさ、あれじゃん、ね、順番を変えるみたいなのがあってさ。

確かにね。リーグの色を表示するでもシンプルに。 そうそうそうそうそうそう、そういうこともできるから、なんかそんな感じで。まあまあ別にDISCORDリンクパッと送るだけじゃないですか、結局。 そうね。

あんま説得力なくない？

で、あれじゃない？アプリ内でイベント宣伝すればいいんじゃない？だから、そのアプリ内の-

コミュニティのイベント。

その多分原神とかでもあると思うんですけど。公式イベント、まああれかな、公式イベントに限定してもいいと思うんだけど、アプリ内のイベントみたいなタブがあって、こういうイベントを開催するのでどうですか？っていうので、そこからイベントを見るためにそこで入る。それで終わってもいいですし、そのイベントの告知- イベント-イベントの告知をできるアプリ内で、それはなんかよくあるってあるやつじゃないですか。

イベントの告知があって、そのイベントの告知を押すとコミュニティに参加っていうボタンが出てくるみたいな。

はい。掲示板みたいな、なんか。

掲示板タイプ、掲示板か、掲示板、掲示板。

それはだから、ユーザー柄じゃなくて、公式でやるイベントに限定してもいいとは思いますよ。

うん。

あの、よくありますね。そうです、そうです。

公式イベントはアリですが、公式イベントやるとしたらどんなやつ？ピッチイベントみたいなやつ？

それとかその、それこそアウトプットの場とかさ、あの、学んだこと、何々の業種についてアウトプットしてみようとか。

専門家を呼ぶとかね。

専門家を呼んだりとか、あのユーザーで応募してもらって、当選した人にチャレンジする機会を与えるとか。だから、その実際のピッチイベントじゃないんだけど、バーチャルピッチイベントというか、あの、そういう発表する場を持つ。あ、それなら結構さ、定期的にできるじゃないですか。どんどん違う人が来るから、ネタも尽きない。機能としてだからあれっすよね、あの、さっきのDuolingoの中でここにイベントみたいのが追加されるってことですよね。

うん、そうです。ここに公式からのお知らせみたいなのがずらっと並んで、イベントの情報であるとかがあるよみたいなね。載ってるよ的な。

確かにね。そう。で、えーと、そう、コミュニティ自体はチャット、いろんなチャットがあって。

たしかに。

(考える音) フィードバックチャンネルとかもあっても。

なぜDuolingoはアプリ内で発信してないんだろう。X じゃない？発信してるの。

うん。

そうですね。それは何かコミュニ--コミュニティにつなげるっていう、そういう動機がないじゃないですか。

Duolingoってコミュニティ持ってる？そもそも。

いずれXをコミュニティとしていると思う。だから、単なるユーザーのフィードバックのためのコミュニティ。

なんでコミュニティ作らないんだろうね。絶対作った方がいい。

(息を吸う音)

なんか直接何なんだろう、今なんか直接つなげるのがなんか似合しくない気もしてきてる気がするんですけど。

おお。

これが言語化できてないのかな。ユーザーから見てイベント案内であったりとかあったとしたら、起源する？ 特にない？アプリやっている中で知らんお知らせが。

だから、なんか、そのイベントの種類というか、それがなんか有名な人を呼びましただとちょっと怪しまれるかもしれない。

そう。

そうじゃなくて、そのあなたが学んでいることをアウトプットするチャンスですみたいな。そのアウトプットの機会と捉えてもらえたら。

でも、イベントのアナウンスっていうのはあれですよね。こういうイベントやりますよとかっていうのをばーって出す。

うん。でもそれは全然なんか。

教育アプリとの相性悪い気がするな。

あー。

教育アプリとの相性微妙な気がする。ゲームとかでアナウンスやってる？ やってますよ。

やってますよ。

公式イベントで、例えば、新情報を発表するYouTubeライブがこの後何時からあります。

うん。

それで飛ぶと YouTube に飛ぶっていう。その YouTube ライブ的なものをコミュニティ内でやって、ボタンを押せば DISCORD に入るみたいなことを考えられるかなっていう話ですよね。

そうそうそうそう。

これがちょっと教育アプリとの相性が悪い。

悪いってどういうこと？

うーん。なんか、うーん。Duolingo のこのミニマムな感じっていうか、この簡潔さというか、脳死でどうこうみたいな。テーマ、寝ながら言語学習でしょ。余計な情報が入ってこない。それにっていう意味で余計というか、なんかそれいるかなっていう。

どっちかというとあれや。

ユーザー求めてるそれだって。

(交談)が入ってくるイメージ。

ユーザーが求めてるから。

中国のアプリみたいなね、あの中国版のマインクラフトってめちゃくちゃうるさいんだよ。其の、機能を追加しまくってんだよね、あれ。なんかあの、スキンとかワーケットプレイスがあって、あれしまくれるとか、イベントの告知とか。

なんか例えばさ、マイクラの統合版ってさ、スキンショップみたいなのいっぱいあるけどさ、別にさ、 JAVA 版の人、JAVA 版にいないわけじゃん。 ユーザーが求めてるかっていうと、大体求めてないじゃん。 そういうことは教育アプリというか、こういうミニマムなものでやろうって言うんだったらあると思うんだよな。

運営側視点で考えて誘導したいっていうところからの発想だと思うんだよね。

そうですね。

ユーザー主導で考えた時に、いらんくね？っていう、そんな興味なくね？みたいなところはある。

ユーザーが本当に- 学んでいるユーザーは。イベントに参加したい意識高い人は、コミュニティ内でコミュニティに入ってるわけじゃん。

勝手にコミュニティ作り始めると思うんだよね。

うん、そうそうそう。

そこはなんか、一般コミュニティでいいと思うんだけど。勝手に作り始める人いたから。

まだフィードバックのためのDISCORDまではいいと思います。

DISCORD認可貼っつけてる間なんですか？それ以上のことはしない方がいい。

で、それを公式コミュニティにして、それから外部に発生したものはもう管理無理ですっていう。自由にやってくださいになっちゃうと思う。でもそれも学び合いコミュニティで連携コラボみたいなのが出来上がってきて、それを公式イベントの中でアナウンスするっていうのは、DISCORDの中でアナウンスするっていうのはあり。

やりなさい。DISCORDなんかするならコミュニティの入り口はDISCORD認可あって終わりっすね多分。

それでいいな。それでいい気がしてきた。

あ、そうすか。じゃあそれでいいと思います。

引っかかってんところは。

うん。うーん。ってなると、そのアウトプットの機会っていうのは自由にやってくださいっていう。

DISCORD 入って、DISCORDの中にはイベント通知が来てるわけでしょ？アプリ内にイベント通知を表示するかどうかっていうのもまだ論点で、アプリ内ではやらないってだけで、DISCORDのサーバー入っていろいろやれば学び合いコミュニティの意味だから、なんでもできるんじゃない？その中で参加者がイベントを作るわけで、作ることもできます。

確かにね。

うん。それをそこにはさ、もう。

住み分けか。

そうそうそう。

住み分けね。だけど。

それはアリだな。それいい気がする。

アプリ内では-

安全な気がする。

うん。

ユーザー離脱がなさそうな。

いや、やる気のその主体的な人と能動的な人の、ん？同じじゃん。自動的な人と主体的な人への住み分けというか。

そうだからなんか、以前自分がお伝えしたなんかターゲットの段階あるみたいな話をしたじゃないですか。一番段階も企業を決めてだんだんやっていくと。で、 二つ目っていうのが起業を考えている人で、 三つ目はなんとなく起業-

そうか。はい。

ああ、そう、先生に対して受動的、自分じゃ動けませんタイプで。 二つ目はそうね。起業に向けては繋がっていない頭でっかちの勘違いタイプ。うん、まあでもまあまあまあそうね。その二つっていうところで住み分けした時に。え、ふてこれだっけ？なんか他なかった？

三つね。

これかこれ。これすか？

あ、そうそうそうそう。プライマリーターゲットっていうので、起業家という生き方やビジネスに興味関心がある大学生と、その次が起業を志しているものの、失敗の恐れや何をすればいいかわからない。で、三つ目が起業はしているが、なかなか前に進められていない。進め方がわからない大学生、っていうので、丸さんに関してはもう起業マインドが伝わっている方々なんで、多分あのなんだろうな、自走して自分で有料版も購入したりだったりとか、それこそコミュニティに入ったりとか、なんならコミュニティで自分が運営側になるタイプだと思うんですよ。まるさんの感じでは。ただ、丸一丸二っていう方がユーザー数は多いと思っていて、ここが脳死で起業っていうターゲットかなと思うんですけど、そこに対して多分余計な素材は与えない方がいいのかなと思うから。

確かに。

ただ、居心地の良さを求めてるよりどころは求めてると思うんですよ、彼らは。愛と繋がりというよね。だから、そこの愛と繋がりを与えられるようなのをコミュニティで環境を用意してあげたりであったりとか、役割を用意してあげるであったりとか、それこそFEDAみたいにラントゥアンというか、自分が参加する側が稼げるような仕組み、ポイントシステムみたいなのを用意していって、巻き込むっていうのはありだと思います。そこの棲み分けは大事かなと。

あー、え、そこはだから、あ、そ、そのFEDAの仕組みでいくと、学び合いに参加するとなんかゲーム内でベネフィットがある？

あ、イエス。

っていうのはどうですか？それではなく、なんかゲーム内で-

ゲーム内でビズオフィア？

ビズオフィアで何かもらえる。それそれそれじゃなくていいか、別に方法は。

そこも難しいね。あれだよね。ビズオフィアのポイントとコミュニティのポイントをつなげますかっていうところ。

そうですね。なんかま、つな-つなげたらその普通にやる気出るじゃないですか。でもなんかずるいじゃんというか、その、そことのなんか無理やりつなげてる感もあるし。棲み分けにもなってないというか。

コミュニティで貢献していったらポイントもらえる。あ、それ逆じゃないんだ。 アプリを進めてったらポイントがもらえて、そのポイントをコミュニティで活用できるぐらいだったらいいけど。 コミュニティでやってることがアプリに反映されるっていう機能はいきなくていいと思います。

あ、確かに。そっちだsohchiraそっちだ。

そうそうそうそうそうそうそうそう。

うん。

アプリでこれだけ進めた人にはポイントがあって、このポイントでコミュニティー内でイベントに参加できますはいいと思うんだけど。

あ、だ、だ、だからわかった。あのー、そうね、アプリでなんか何日連続でやったとか、そういうポイントを貯めたら、有料、なんかその有名講師の人を招いたイベントを別にそこまで大々的に宣伝はしないけど、参加できる。

それはDISCORDのなんかリーグ別にかなんかランク別とかで分けていって、

あ、そこに。

チャンネルがあればいいね。

そうですよね。

出していくでいいかなって。

確かにリーグ別の限定イベント、確かにそのぐらいの温度感がいいな。ロールで権限ってことですよね。 うん。結構簡単に管理できるから。

それはイメージ湧む。

あ、だったら例えばダイヤモンドリーグに昇格したタイミングでダイヤモンドリーグ限定のなになにがあります。

あ、そこにスクール招待券を置いてもいい。

だからデュオリンゴの(物を動かす音)なんだろう、例えばここに、こことか、にポチって押したら-

DISCORDの話？

DISCORDに飛びます？

ああ、そういうこと？リンクをポチっと押すとDISCORD-

DISCORDのボタンポチってある。いや、まあ、リンクを押した後っていうか。

そう、そうだね、そうなるか、そうなるか。DISCORD内で、そうだね、なんか自分でランク設定って。

いや、えーと、それ、それって多分アプリのあれと連携してロール設定はできると思いました。API とかなんかあのなんたらの呼び出しとか、そのよくわかんないですけど、DISCORDそういう機能あるんで、できると思います。できなくても-

それできるはいい、良きです。

多分そのリーグ別にサーバー作るは違うか。

サーバー違うんじゃない？なんかサーバー一個の方がいい気がする。

なんかそのできそうじゃないですか。ボタンを押したらその限定チャンネルに招待とか。で、ライフとかもあったり。やばいやばいやばいやばい落ちちゃう。悪霊から落ちちゃう。ヤバい。結構クリアな気がする。うん。で、議論できてないあれは。 WHO はわかった。 WHAT はもうここからうんと変わってもうデュオリンゴですと。HOWは？コミュニティとコミュニティもあるし。

システムとしてはコミュニティと、まあコースと学習はデュオリンゴとっていうので、行こうっていうことで大体決まったんじゃないですかね。

SNS 機能は、うーん、DISC--あのコミュニティねっていうね。まあだから表面的なスキルを脳死で教えるっていうところに変わりましたと。

イエス。でも打ち出し、あー、うん、そうです、そうです、そうです。

デュオリンゴをやらなければいけない。

SS、SNS 機能って何？コミュニッコミュニティの話？

うん。まあそうですね。その元々はその勉強記録の書籍のあれとかを共有って考えてましたけど。

あと、(咳払い)ポイントの議論って何でしたっけ？つなげない？つなげる？

ポイントはだからアプリで一定程度進めたら DISCORD 内でなんかできる。 それがアプリ内別のイベントだったりみたいなことで対応すればいいかな。

アプリ内のゲーム内通貨、ゲーム内通貨を多分コミュニティのイベント参加とか特典に変える、なのかな？

あー、アプリ内のトークン、トークンじゃねえや、ポイントユニティっていうところをゲーム内で使える。

そうですね。

ほぼゲーミファイだよね、それ。

ゲーミファイ？learn to earnも、learn to earnのra- learnの部分は-

そのポイントをウージャーダオ経済圏で使えるようになるってことでしょう。

ああ、で、コミュニティ内のポイントもあるってことですか？それは。コミュニティ内でそういう逆にそういうイベントに参加すればするほど-

その時にアプリのポイントが使えるみたいな。

いや、あー、それもそうですね。それもそうですし、そのま、学び合いの文化を形成したいわけじゃないですか。コミュニティ内はコミュニティ内で、そこはもう固めたいじゃないですか。だからそのインセンティブとして学び合いのそういう主催した人にはあのポイントをプレゼントします。

それはアプリとつなぐかどうか。

いや、つながないです。その-

コミュニティで稼いだ分は-

コミュニティ内で、コミュニティ内、あるいはDAOのエコシステム。だけどアプリは違う。ちょっと。

ポイントを 二つ作るってこと？

そうやって考えてます。

まあコミュニティ内のポイントに関して-

ま、学びポイント、これは学びポイントでコミュニティ内のポイントは学びポイントだったらどうですか？

まあ別にコミュニティ内のポイントに関しては不可欠なものからいいと思うけど、アプリ内でのやったことがそのコミュニティ内でできること、に、あ、が、なに、アプリ内でやればやるほどコミュニティ内でできることが増える、はいいと。

まあそれぐらいでいいんじゃない？一旦は。うん。 NTT 内にポイント制度を欲しいかどうかは多分フィードバックの問題なんで。 置いておいてていい気がする。 うん。 一旦アプリ内はアプリ内で貯まっていくっていう。

そうね。

これ(タップ音)ステッパーにしよう。多分、あの経済圏で使うようになっていったとしたら、検証法的に引っかかってくる部分もあるんじゃないかなと思っていて。そのポイントで何か売買を行うってなると。だからそこがいわゆるトークンの今壁なんですけど、それってポイントなんですか？トークンなんじゃないですか？っていう風になってきそうだなという点もあるんで、ちょっと面倒くさそうな。一旦ブンディブンから。かしかし、NFT もね。あれだったらメンバーシップトークンみたいなやつだったらいいんですけど。まあだから多分 Duolingo のアプリは NFT とかそういうのは入れないでおいた方がいいとは思ってます。xofia は。xofia に NFT をつけないとややこしいんで。多分なんかバッジとしてバッジを。バッジはだからえーそうかな。まあそれはそれでいいか。だって別にそれをバッジで取らないと。いや、Duolingo のバッジって別に NFT ではないじゃないですか。 でも資産的価値を持たせた方がいい。どう？まあそれいいですけど、バッチコレクションとか。そうか、ユーザーはわかんないじゃないですか。なんか。まあ NFT って言うとわかんない。あー、わかる、わかる人はわかるけどぐらいの。で、機能として実装しておく。まあいいか。 NFT まあなんか WEB3化するのはまた、それはもうそこからの展開。 MVP の後で考えましょう。ポイントシステム、MVP で入れ入れなくていいです。うん。いいか。スキルを身に着けないといけません。スキルを勉強できます。あまりいいと思う人には。そうですね。OK です。クリアこんな感じじゃないですか、今日。じゃあ 9:30です。ネクストネクストアクションは何ですか？サイゼリヤに行く、その為に今日だから一旦要件定義を作り直すになりますか？ 要件定義作り直し。分かりました。だから今日の議事メモっていうところをManusにぶっ込んで、そこからなんか修正版を作っていただきたい。確かにわかりました。で、情報も結構今膨大じゃないですか。そこも削っていただけると嬉しいです。といいますと、なんかメモとディスカッションメモと、あと合意事項ネクストアクションを分けていただきたいです。合意事項のところで、 MVP でフェーズ 1、2、3、4これで決まりました。で、ネクストアクションで例えば要件定義書を変えますであったりとか。あとなんかプロトタイプを作りますであったりとか。ディスカッションメモでバーっと記事メモ、録音の議事メモを残す。重要事項だけ持ってくる。欄を作っていただき、それはそうですね、普段の議事録でそうしてます。なので、分かりました。 最初の方に書いておきましょう。そういうことですね。その、その、そこに至る過程とかは議事メモの方で。そう、そう、そう。議事メモで予備でいいです。結局何の会議だったっけ? っていうのも、その合意事項を見れば全部わかるような状態。はい、分かりました。それを共有するようにします。 1ページで収まるように合意事項と次回です。Duolingo をやってます。Duolingo 確かにいつも Duolingo やってるからなんかインスピレーションが湧いてくるかもな。Duolingo すごいんだってこれ。でも事実僕がだから Duolingo に魅了されているので、僕はもうあの。開発する側がこう愛せるアプリになるんじゃないですか？同じような感じで作れば、そこまでなんか、例えば IP をみんなで作っていくみたいなのもありはありだと思うんだよね。 IP キャラクター？そう、今デュオかホビーだっけ？ デュオが運営側で作ってるじゃないですか。それなんか可愛いもん。これいやあれですよ、このキャラクターの種類をファンが増やしていく。それもいいし、あのパンダ生まれたから名前、名前を募集しますみたいな。そういう感じでやってもいいかもしれない。ダオキタ、ダオキタね。あの UGC のキャラクターです。なんかあのコミュニティ内でネタ的なミーム的な感じで人気になったキャラクターがリゾフィアのアプリで登場しますみたいな。そうですね。UGC、UGC いいね。あとあとなんかミーム、ミームになるキャラクター作れるといいですよね。デュオってなんかあのしつこすぎて面白いじゃないですか。それがミームになってるんですよ、ネットで。なんかあのめちゃくちゃあの怖いさ、ぬいぐるみがうんちゃらとか。だからどういうキャラ設定にするかっていうのも重要だと思って。デュオってメンヘラじゃないですか。確かに言っちゃえば。今って人気なキャラってどういう性格の人っていうのを見る必要があります。 確かに。時代と共に進化させた方がいい。進化させるか、登場人物を変えるか。デュオなんか死んでますもんね、今。 3年後にじゃあずっとメンヘラのデュオを受けいいですか？っていうのはまた別じゃないですか。なんか変わってる可能性ある。多分最近結構メンヘラになってきたような気がします。なんかデュオ自体も変わってるような気がします。そう、変えていかないと多分ユーザー飽きちゃうと思うんですよね。確かにデュオ、Duolingo の本質って IP ビジネスにもある。そう、IPビジネスからだからそこからなんかアニメ制作とかにもつながっていったら面白いですよ。推し活的な。グッズは絶対売れます。グッズは欲しい。結構結構大事じゃないです。結構デュオがいるから続けられてるんですよ。 Yes, yes, yes, yes。その愛してるキャラクターを作るのも大事。たまごっち的戦略ですよね。イメージ。あー自分が育ててるみたいなのもできると面白いですけど。 うーん、ラフな感じでいいんですけど、一旦はなんか、あの、まあでもMVP は確かにイメージできるあれなんですけど、リリースする段階では絶対にキャラクターは必要じゃないと受けない。そのキャラクターのコンセプトみたいなところに関しては、そういえばこの間ラニーヌさんが作ってくれてたなと思って。へえそうなんですよ、実は。あ、キョウちゃん参加してくれてた。はい。入れねえ？キョウちゃんがいるミーティングに。ネットネット会ですか？入れろ。あ、ちょっとなくなっちゃったよ。いや。レアキャラクター。あ、ラニーヌさんにまで作ってもらったのが、なんか不思議じゃん。をコンセプトにキャラクターを作ってもらって。これなんかどうやって作ったの？イメージエフェクトです。で、速攻なんかこれをなんかデュオっぽく感情を持たせるイメージです。やっぱ牛になりますか？牛ダウンで。牛ね。ちょっと見えてくる。ちょっと見えてくる。ちょっと見えてくる。 でもメンヘラではない。え、でもなんかメンヘラじゃないアプローチで続けさせたい。メンヘラだともうもろに Duolingo になっちゃうから。だとなんか人が面倒見たい、愛したいなって思う人って多分一つ天然だと思う。あー、天然キャラクター。うん。天然キャラクターの表現って難しくない？あ、お疲れ様です。音、音出てないんじゃないですかね。

いったしてるよ。

えー。

お疲れさんです。

設定？

聞こえます？きょーちゃんさん。ダメだ。ちゃんと入ってる？入ってる気がする。上に上がってる。 今何の話してた？IP？

そう、IP、IP戦略というか。 いかに大事か。

あー。デュオリンゴって最初からこのなんか袋。あ、そうだ、正確な話、キャラクターどうするかの話か。

そうっすね。

面倒っていう話で終わってますね。

はい。

はい。恐怖キャラクター、あー。

やだー。

やだー(笑い)。会いたくない。(笑い)癒しだよね、多分。癒し系っていうかなんか可愛そうみたいな。自分が面倒見ない。

そうそうそう。なんか真面、真面目は多分ダメです。ビジネスに真面目だったらもう避けられる対象じゃないですか。

子供も離れてる。

え、だからー、純、なんか純粋にこう探求してる、ビジネスについて一緒に学びたいんだってワクワクみたいな、好奇心。

今あるアニメのキャラクターでいうと何かある？

なんかある？俺知らんけど。

のび太くん？

なんかどう思う？今までこのこの会話を聞いて、タカは。

IPのキャラクターについて。

はい、俺より詳しそう。アニメをたくさん見てる分。

愛したいと思うキャラクターは何か。自分が面倒を見たいであったりとか、ずっと関わっていたいであったりとか、大丈夫かなっていうのを心配するようなキャラクターは何か、どういう性格を持った人？ 危なっかしいんじゃないですかね。 危なっかしいありそうだね。

確かにね。ココロさんみたいなね。

あー。

ココロ、確かにココロさん、わからないけど。(笑い)あの性格の部分をね、ベンチマークしてね。確かにそのウージャンの中にいる、こう人を実はモデルにしてますも面白そうではある。俺は？

危なっかしくはない。

何？

うん、大丈夫そう。

あ、そうなの？ 問題を発生しない。 じゃあもうあれや、もう AI エージェントで勝手にこいつが、あの、勧めてくれるやんのキャラクターになっちゃうね、それは。それはあの、俺が介入しなくていいやになっちゃうね。キャラクターとしてはちょっと違うか。

きょーちゃんさんお疲れさんです。聞こえます？

マイク、ん、聞こえたらなんか、なんかしてチャットとか送って。

多分マイク機能があれじゃない？機能してないよ。

せ、設定一応設定さんを見てす。これなんか。

こっちはあれだ。 緑がついてる。

音声が・・・うーん、スピーカーっすよね。

だから、いや、あの緑になってたら- 拾ってるからこっちは。 ぜひ教えてください。拾ってないから。拾ってたぐらいだったら。 マイクがマイクがつないでる感じ。

聞こえた。

聞こえた？今聞こえました。

聞こえた、聞こえた。

あ、よかったです。よかったです。今あのアプリの話について盛り上がってました。

あー、あのー、なんだっけ？イヤホン、イヤホンにしてたからずっと聞こえなかった。あ、今外れた。

あー。

あー、分かった。

ワイヤレスイヤホン、あれ、あれだからね。

OK、OK。

よいしょ、えいほ。えいほ。

今、え、有楽町？

今有楽町にいます。 TIB、Tokyo Innovation Base って言います。

東京イノベーションベース。

言ってないんだ(笑い)。

それで-

言ってないの？

聞こえてないんかい。

そうです、そうです。

そうそうそうそう。 そうそうそうそうそうそうそう。

今週で三回目、これ。 私一番上に行ったから。 (笑い)木土日。(笑い)え、そっか、タカさんと木曜日か、あれ？早いな。まだあれか。そっか。もうなんか一ヶ月ぐらい経った記憶がある。あれから。なんで、アプリのそのデュオリンゴのホビー的なキャラクターっていうのをウルシアダオの IP の場合どうするかみたいな話を今していて。

そうそうそうそう。

ウルシアダオのいわゆるアプリはどういうアプリにするかみたいなのはちょっと話し合った部分があるので、後ほど議事録で共有できたらなって思ってます。で、今は論点としてはウルシアダオのIP、いわゆるキャラクターですよね。ウルシアダオのキャラクターでどのような性格を持たせたキャラクターだとユーザーから愛されるかっていうところで見てます。

このデュオリンゴのデュオってこうメンヘラでしつこいじゃん。そう、なんかウィジェットとかでさ、通知とかでめちゃくちゃしつこく今日やってないの？みたいな言ってくるじゃん。そんな感じのキャラクターがこのビズフォアでも欲しくて。

とりあえず発散式になんか思いついたキャラクター言ってきますね。

そう。なんか-

ピンときたものを。

そう、だからデュオみたいなメンヘラのキャラクターだったらやりたくなるなとか、そのビジネスを学ぶデュオリンゴみたいなもんだから、それだったらなんかどういうキャラクターがいいんだろうっていう。

むずいな。めっちゃポジティブなメッセージ投げてくれるような、なんかあれは？あの修造みたいな。 やればできる！君は素晴らしい！キン肉マンみたいな(笑い)。とか、まあ天然キャラ、可愛いキャラ、癒しで可愛いキャラでさ、なんか美少女なんとかみたいなでさ、やってるところ、あんまうまくいってないんですよ。 うまくいってないです。 なんかユーザー層が悪いと思ってる。

わかる、わかるね。よくない男だね。よくない。

社会を変える人は多分そこにあんまり興味を持ちないだろうな。 その、なんか、非常に興味あるそうに。「キャラクターってそんな重要ですか？」って気もする。

だから、なんかその真面目な俺らにもわかってくれる感のあるキャラ。わかってくれる感のあるけど大衆受けのあるキャラ？なんか。

自分なりキャラクターでもさ、落ちた時になんかこのキャラがいるからまた学ぼうみたいなのが、パートナーみたいな人が欲しくない？パートナーって考えるとだから心の支えになる。

牛、牛じゃん。でも。

牛やん(笑い)。

でも、でも牛じゃないすか。

あー、キャラクターが？

キャラクターうん。キャラクターでも牛でも支えあるでしょ。 忠誠の牛？こう雌でも雄でもない。

それかさ。ガネーシャわかる？ガネーシャっていう夢を叶える象わかる？あれの本に出てくるガネーシャっていうキャラクターのなんか関西弁のなんか象さんがいるんだけど。そのキャラクター引用していくのもありかなと。 夢を叶えるぞめっちゃバズってるんですよ。

へー。

なぜ人気かっていうと、そのガネーシャが面白いからなんですよね。

おお。

関西弁のなんか、なんて言うんだっけ？なんていう...

ほうほうほうほうほう。

人をバカにするではないけど、バカにしながらなんかいいこと言うみたいな。

なるほどね。

いじ、いじりキャラは？ 没書きってこと？

なるほど。

いじ、いじりキャラ。

(笑い)思いっきり浄水器のにぶつけた味。

あら。(笑い)痛い。

うん。どういう、どういうキャラがいい？

どういうキャラがいいか。まあ、まああの、牛で、えーと、なんとか。私が好きなキャラでいうとなんか、ちいかわ。

ちいかわ、確かに。

ちいかわ。

ちいかわ的な。

なんだろう、あの、物語がちゃんとあって、可愛いんだけど、ちいかわは、ちょっと癖のあるというか深いみたいな。実は深いみたいな。

ちいかわ、確かにキャラクターがいろいろあるよね。

だからなんかアホ、アホっぽいじゃないけど、子供向けみたいな、あの、こう、語り口だし見た目だけど。あ、確かになんか大人も好きじゃないですか、ちいかわって。

うんうんうんうんうん。

子供向けのキャラで大勝利しそう、大勝利しそうな感じだけど、あの深いし、なんかこう哲学的な牛。

そうそうそう。

哲学的な牛。

それいいね。表面的にはアホっぽいで中身はちゃんとあるから。

そう、そう、そう、そう、そう。

深入り感。あ、いいね、いいね。それはいいんじゃない？ちいかわ。

これに関しては、AI じゃなくて、ちゃんと誰かに書いてほしい感はあるな。 MVP はアレでもいいと思うんですけど。

何が？デザイン？

うん。

あー、うん。デザイン作成はイラストレーターに依頼したいね。

なんかそこもちょっと有名なイラストレーターがやってたらちょっとアレなのかもしれない。

うん。

そう、そこで入る層もいる。

ああ、そうね。確かに。

VTUBER の、あの、あれじゃないけど。

私イラストレーターで本選ぶからね。

あ、そうなんだ。

ライトノベルとか、そういう人もいる。

あー。 え、だからそのさ、アプリじ-- でもそれは違うもんね。あのアプリ自体はアニメスタイルにして、なんかあの、キャラクターベースのアレにするっていうのはちょっと違うもんね。

うん。いろいろと、その、でもまあ、その、なんか、うん、人を入れれば、その人に価値を感じる必要があるから。

(笑い)

DUO のこのキャラクターってどうして生まれたんだろう？そのプロセス、何ですか、プロセスエコノミーじゃないですか、それこそ。

うん。

DUO のキャラクターが生まれた経緯を知りたい。

調べたほうがいい。

マイクラのスティーブとかもなんかいいじゃん。

うーん。

なんか。

ピクミン。

ピクミン？

ピクミンも、まあなんでもその多分 IP なんでもそうですよね。多分プロセスストーリーが。ストーリー？プロセスエコノミー？やっぱ、あの牛のカチューシャつけた女の子？牛じゃん。牛でキャラクターってするとさ、牛は難しいじゃん。あまり。 DUO も鳥だしな。

(笑い)

マイナーだしな。もともと多分フクロウって。フクロウがこんなにメジャーになったのは DUO RING が初めてでしょ。

牛でメジャーなの？

何？それになる？

牛ってなんか、ライオンキングとかに出てくる？

いや。

牛って意外といなくない？

牛って意外といない。おお。でも牛ってさ、四足歩行だ。四足歩行だからさ。

ブルーだからあれは。カウではないから。

あ、確かに。ブルーとカウ。

手振れないじゃん。牛って四足歩行だから。(笑い)こう、こうはさ、ならんでしょ。

なってもいいでしょ。

(笑い)違和感ないですか？

いいじゃん。

あー、あー。

牛だったら右に振ればいいんじゃない？

(笑い)

こうやってでかでかして。

チャラいのはどう？あの鼻にさ、あのリング通すじゃん。チャラいのはどう？

前作って。

こうやって振れるじゃん。ほら、こうやって。 振れる、振れる。

あ、いけ、いけた。ここで見てもわかる。

ここで切れば、ここで切れば。その四足全部、四本の脚が-

違う、違う、違う。立っててもいい。立ってても多分いい。わかった。これ見ていいってわかった。わかった。認めた、認めた。(笑い)だから鼻ピしてんのよ、鼻ピ。するじゃないですか。ほら、牛って鼻ピするでしょ？

牛って鼻ピって何だっけ？

こういう風に通して、リングみたいな、輪っかみたいなのをこう。

あれってなんでやってるの？

チャラいから？チャラいからだよ。

番号、番号つけてるんだよね。

そういうのとか。

そこにいいんじゃないですか？え、でもチャラいのとかわいいのと。え、でも可愛いじゃ、かわいいんじゃない？鼻ピしてても。(笑い)でも牛を活かすならそこもね。

牛の性格ってそもそも何？

知らない。

ギャップあった方がおもろくない？

おもろい、おもろい。

牛の性格ってそもそも知らないから、みんな。別に。

牛の性格とは？

牛の性格。 穏やかなって。純で穏やか。

穏やかの反対は？対極。 冷酷で、冷酷で、やっぱ冷酷で来る。

情熱的で活発な感じの。

情熱で(笑い)。え、だから、あのなんかピクサー映画みたいな、この、手を頑張って動かしてるの。こう、あれになってて。で、イラスト帳、イラスト帳だよね、やっぱ DUO みたいな絵柄というか。あの三次元のブレンモデリングじゃなくて。

あ、二次元ってこと？

そうそうそうそうそうそうそう。

リアル感は、リアル感じゃなくていい。イラストでいい。

さっきのイラスト結構いい感じではあります。

ね。さすがラリーナさんって感じ。

ね。で、多分あの GEMINI の新しいなんか画像生成って。ちゃうちゃうちゃうちゃうちゃう。あの GEMINI 2.0 FLASH のなんかの画像生成のモデルなんですけど。

テンプレート三つ追加してなんかできるやつじゃ。

ちゃいます。

違うんだ。新しいの出てる。

出てて、えーと、どんな牛作りたいんでしたっけ？えーと、情熱的で、情熱的で、松岡修造みたいな。な、牛の二次元のキャラクターを生成。 うん。

生物つけなくていい？　DUO もついてない。

中性的。

マッチョって。

愛らしいキャラクターで二足歩行。

なるほど。

で作ると、こう作ってくれるんですけど。ですよね。こうなりますよね。で、で、これを例えばえー、なんだ、えー、可愛くしてって言うと、その文字で編集できるんだよね。

こういうのを。ちょっと待って。

待って、ちょっとこれちょっと分けて、切ろう。(笑い)待って。

ちょっと、ちょっとあれだね。かわいくない？同じ絵柄でちょっと変わるってことができるんだよ。で、背景燃えてる？ちょっと待って。

かわいくはねえな。

背景が、背景いけい、燃えてるといや、っていうと。(笑い)あなんかどれがいい？

青空と太陽。カラフルな応援団。カラフルな応援団じゃない？

いいだね。

さんは何？

スポーツフィールド。キラキラした星空。

いいんじゃん。

で、これをすると、この文脈を理解して、画像生成をしてくれる。ちょっと今作ってんの。ガンマって。 おお。こういうことができる。これを使ってプロトタイプができます。プロンプト次第でいける。これがどう変わったっていうと、まずこれだったのが、なんか可愛くなったらしいです。それが、入っていく。

白黒の比じゃないよねっていう話がある。

で、これを多分あの四足歩行にしてとか、あの、女の子っぽくしてとか。

インプットアリーナさんが作ってもらったあれでもいいけど。うん。あれインプットして。

なんか確かに確かに。

イメージとしては近いです。あれに表情をつける感じ。そもそも白黒の比じゃないから。

で、多分このモデルを使うと、その、なんだっけ？このモデルを使うと、いろんなさ、ウィジェットのいろんなところに使えるパターンが作りやすいよね。一貫性のあるキャラクターができるから。白黒って普通じゃないですか。UNISAのコーポレートカラーはネイビー、ネイビー、白ってどう思いますか。ってか、そもそもデュオリンゴのデュオもふくろうなのに緑じゃないですか。ふくろうなの？デュオリンゴのコーポレートカラー多分合わせて。デュオってデュオって緑じゃん。めっちゃ緑じゃん。あれあのふくろう緑。ふくろうだよね？普通のリアルふくろう。うん。リアルふくろう。デュオがふくろうなんだとしたら、ふくろうにしても緑って意味わからんようにしてるから。逆にふくろうとしてはこんな可愛いんだよ。 やっぱ全然色緑っぽくはないね。だから牛を紫にするとか。コーポレートカラー合わせるっていうのは。紫の牛でよくない？紫の牛。全部紫はちょっとなんかキモくない？青か。いや、じゃあ青色の牛ってちょっと言ってみる？青色のかわいい牛。ラリーナさんが作ってくれたやつをちょっとDMで送ってください。それを編集させます。ほら、めっちゃほら、青色にしてくれた。違うね、これは。まずその、COWとBLUEで認識の相違があると思うので、それBLUEだと思います。BLUEじゃなくてCOWが。名前どうしようか。ブルーはシールしめてるけど、どっちかというとこっちよね。

あーそう。角長すぎだね。

何ですか？

角長すぎじゃね？角デカすぎじゃね？

この、でも、これ。うん。このキャラクターを編集していきたい。

これ Google が出してるやつ？

Google Air Studio です。無料です。ChatGPT もいずれこういうネイティブな画像生成が出るんだけど、ずっと出てない。

(背景話声)

行きません？それ楽しいですよ。

要らないほどグー取れてる。

キャラクターまで今作る人います？ね、じゃあ行きましょう、そろそろ。

MVP はんのしたかい？

ね。すごい俺スマホしか出してないから、一瞬で行ける。天才的だった。

あっちでやりな。あ、すいません、あの。お疲れ様です。

はい。

20時から全体会議。

あ。どうっすか？今これ。

ああ、でも顔の色はね。いいと思う。

どう？これ。

お疲れ様です。では一旦切ります。 あっつ。 あっつ。

(笑い)